

1. 件名：「敦賀発電所2号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(42)」

2. 日時：令和6年1月25日（木）16時00分～19時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

野田安全管理調査官、田上上席安全審査官、海田主任安全審査官、  
宮脇安全審査専門職、原田安全審査専門職、大井安全審査専門職、  
岩崎安全審査官

日本原子力発電株式会社 開発計画室：堀江常務執行役員 他6名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

・音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

・発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性（コメントリスト及び回答時期）
- ・敦賀発電所2号炉 補正に係る説明スケジュール（敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性及び原子炉建屋直下を通過する破砕帯との連続性）（改訂3）

<令和5年10月6日提出済>

- ・敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 K断層と原子炉建屋直下を通過する破砕帯との連続性
- ・敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 K断層と原子炉建屋直下を通過する破砕帯との連続性 補足説明資料1 ボーリング柱状図・コア写真
- ・敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 K断層と原子炉建屋直

- 下を通過する破砕帯との連続性 補足説明資料2 破砕部のデータ
- ・ 敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 K断層と原子炉建屋直下を通過する破砕帯との連続性 補足説明資料3 性状一覧
- ・ 敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造 敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性及びK断層と原子炉建屋直下を通過する破砕帯との連続性の評価方針と評価概要

<令和5年12月8日審査会合資料>

- ・ 資料2-2 敦賀発電所2号炉敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性(コメント回答)

## 7. 確認・伝達事項：

原子力規制庁から、日本原子力発電（株）に対し、以下の事実確認及び伝達をした。

- ・ 1/18 面談実施について、スケジュール資料の現地調査の箇所ではなく、審査資料のスケジュール上に記載されていることを確認し、現地調査の欄にも追記するよう伝達した。
- ・ 1/18 面談における詳細観察写真資料については、今後も進捗状況を適宜報告するよう伝達した。
- ・ 4 月上中旬の現地確認の時期について、事業者の想定時期について確認した。
- ・ 回答時期について、前回面談から回答時期が早まったコメントの有無について、認識あわせを行った。
- ・ 1187-3 のコメントなど、再コメントを受けた場合は、再コメントの箇所だけでなく元のコメントにもリンクするよう、相互関係が分かるよう明記するよう伝達した。
- ・ 1202-1 のコメントのように、第1回現地調査にて説明した回答資料の提出時期が5月中旬になっている点について、その理由の認識あわせを行ったうえで、コメント回答の方法及び時期については、柔軟に対応するよう伝達した。
- ・ 事業者より、地層の剥ぎ取りを検討しているとの相談があり、お互いの考えの認識あわせを行った。規制庁より、剥ぎ取りを実施する際には、目的・場所・規模等について、事前に一報するよう伝達した。

- ・ フローチャート中の破碎部の類似性について、前段の走向・傾斜の類似性のように抽出基準の根拠が詳細に記載されていないことを確認した。
- ・ 赤丸や青丸の確認箇所の根拠のデータがすべては入っていないことを確認した。また、これらの観察箇所の詳細が、補正前の資料にも含まれているかについても確認するよう伝達した。
- ・ 資料構成について、現時点では評価方針やK断層の性状などが別の資料にあるなど、バラバラになっているが、わかりやすさの観点から、いずれは資料構成を見直す可能性があるのか、事業者の考えを確認した。また、資料上、評価フローからK断層の連続性評価が始まっており、K断層の性状の説明を入れて資料上のつながりを検討するよう伝達した。
- ・ 傾斜の抽出基準の検討において、どのように傾斜を図読したのかについて、確認を行い、事業者よりデータが入手可能なD-5, D-6 破碎帯のスケッチに基づいた検討である旨の回答があった。
- ・ 最新活動以前に形成された破碎部の性状等の類似性について、今回のK断層の連続性のフローの中での位置づけを確認した。
- ・ 「カタクレーサイトからなる破碎部」が表のどれに相当するのかを確認した上で、起点破碎部との連続性の判断方法について確認した。
- ・ 比較対象との走向の差を絶対値でなく、符号を付けた表現にすることを検討するよう伝達した。
- ・ 破碎部の抽出基準における起点の取り方が任意であるかどうかを確認した。
- ・ 条線方向もしくは変位センスが類似する可能性があるものとの意味について確認を行った。事業者よりボーリング孔などで条線方向等が分かっていない場合である旨の回答があった。
- ・ ふげん道路ピットにおけるK断層の断層ガウジの有無の結果が、性状一覧表での結果と異なる点について、事実関係を確認した。事業者より、基盤におけるボーリング孔のデータである可能性があるとの回答があった。今後、走向傾斜のデータも含めて事実関係を示すとの回答があった。
- ・ 連続性評価での検討において、まずはK断層の性状（明瞭なせん断構造・変形構造、最新面に着目した観察等）を詳細に説明するよう伝達した。事業者から3月の資料提出時には整理するとの回答があった。
- ・ K断層以外の破碎部性状等の特徴について、K断層の連続性を説明する上

で必要に応じて追記を検討するよう伝達した。

- ・ ボーリング孔でコアが欠如（スライム、ノンコア等）している区間を断面図に示すよう伝達した。
- ・ 破碎帯名が白抜きになっている箇所について、非モデル化という認識でよいか確認した。また、「コメント回答資料2 調査データのトレーサビリティの確認結果」の No. 85（P 添 1-21）との整合性を確認し、回答するよう伝達した。
- ・ 資料間の紐付けなど、資料構成を工夫するよう伝達した。鉱物脈については、紐付けでなく直接資料に明記するよう伝達した。最新活動面を認定している試料に関して鉱物脈法を適用している破碎部については、断層岩区分や薄片採取位置が分からないので、適正化するよう伝達した。
- ・ 断面図の破碎帯の図示の方法（走向・傾斜）について回答するよう伝達した。
- ・ 井上（2003）を使って熱水変質による成因をどのように事業者が考えているか確認した。
- ・ K-Ar 年代の測定サンプルが何であるか確認するよう伝達した。
- ・ 断層岩区分の総合評価において、「薄片観察と肉眼観察の結果から得られた性状に矛盾がないこと」の記載について、「矛盾がない」の意味について確認した。
- ・ 複合面構造について、参考・引用した文献を記載するように伝達した。
- ・ 本日のヒアリングを踏まえ、資料を修正変更することを確認した。資料中で修正箇所が分かるようにするとともに、変更リストを作成するよう伝達した。
- ・ 2／9の審査会合資料のうち、現地調査資料については、資料1のままで良いことを伝達した。さらに、次回会合では、前回12／8の審査会合からの追加箇所を説明するよう、伝達した。規制庁より、現地調査資料の表紙についての示し方は別途連絡する。
- ・ 2／9 審査会合での説明順序（現地調査資料・コメントリスト・スケジュール）について、相互に認識合わせを行った。

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	当原子力規制庁の岩崎です。それでは本日の敦賀発電所 2 号炉の敷地の地形地質構造に関するヒアリングを開始したいと思いますまずは
0:00:12	K断層の活動性の方から始めたいと思います。それでは撮影の事業者の方からご説明の方よろしくお願ひします。
0:00:27	マイクはない。もう、そうですね、ちょっと阿南でお決め濃いです。
0:00:34	資料としては二つございます。ナイトウ。
0:00:38	さっきですかね、
0:00:42	説明スケジュールで、
0:00:45	表紙に付け、説明スケジュールと、
0:00:47	はい、ございます。
0:00:49	これ
0:00:51	底盤改訂さん作っております、
0:00:55	いただきまして、変えて、
0:00:58	3 のところ、日付は最後の最後。
0:01:03	でございます。
0:01:05	内容としましては、
0:01:07	今回ですね
0:01:10	大分、
0:01:12	1000、
0:01:13	210 回以降の状況を踏まえて、以下を追加してます。
0:01:19	大きくちょっと 03 ページにちょっとレイアウト変更してると、いうことと、当コメン等、この後コメントリストの区分で、
0:01:30	分けてございますのでコメントリストの区分を書いてございます。
0:01:36	あと資料提出とかヒアリング、
0:01:41	実績を入れ、
0:01:43	次回以降の会合の時期、これは対にしております。
0:01:48	具体的にはですね 3 ページを、
0:01:50	空きまして、
0:01:53	これまでの実績、補正書提出から、
0:01:58	11 月までの話は、
0:02:00	下のところにまとめて、
0:02:02	記載してございまして、上のところで、
0:02:07	大きく①の活動性テラスの活動性という
0:02:12	だと、その下②で

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:16	断層と原子炉タテとかを浅井、
0:02:19	それはサイトの連続性、
0:02:22	3番目は現地調査また及び、現地確認ということだと。
0:02:28	示してございます。
0:02:30	①のところ、
0:02:31	このところはですねコメント、
0:02:35	前回もちょっと、
0:02:38	ご説明してございます
0:02:40	コメントの種類を久米になってございましてこの大きく①から①、
0:02:46	こういうふうにして、
0:02:49	右側の資料提出。
0:02:52	3月のところを書いてございますが所アノ。
0:02:57	コメント部分の①、③番クボに関するものを、
0:03:02	ちょっと3月、
0:03:03	で、
0:03:05	藤丸さんにつきましては全部ではないので、05月に、
0:03:11	②と、
0:03:14	③と④。
0:03:17	と資料提出を
0:03:19	5月の中旬、
0:03:21	いうところで、
0:03:22	考えてございます。
0:03:24	ちょっと飛ばしまして前ですね、本日1月24日の資料、
0:03:30	資料提出と本日の1月25日のヒアリング、
0:03:33	とも伝え、
0:03:35	ますので、2月9日の審査会合っていうの、
0:03:38	でございます。
0:03:40	継続性につきましては、本日この後ご説明で、3月に実施するということで、江藤
0:03:48	丸市野介護時期と、当時のところに入れてございます。その下の現地調査もですね、
0:03:54	12月の現地調査の話と、先週いただきました4月の
0:04:00	中から、
0:04:01	中旬にかけてということで今、
0:04:05	この時期を想定しちゃうな4月の11、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:09	ご飯を衛藤、
0:04:11	想定して、一応進めている。
0:04:14	その前に、資料、いろいろデータの発生することで、
0:04:19	メンバーの意識を変えてください。
0:04:23	説明スケジュールの方が一緒。
0:04:27	続けていいですかね。はい。
0:04:29	もう一つの資料ですねQイトウダイトウ呉アキモトリスト及び回答時期。
0:04:36	いうことで、
0:04:38	こちらの前回出したところから、変更箇所、
0:04:41	させていただきます。
0:04:44	当オークワですね、めくっていただきまして3ページ。
0:04:49	9月の20日。
0:04:52	1110回の会合のコメントをいただいて、
0:04:55	それを
0:04:57	四つですけど、追加してございます。このページを追加していると。
0:05:01	いうところと、
0:05:02	あと
0:05:05	左側です。或いは、の、
0:05:09	回答時期、次回次回ってふうに書いてございましたけど
0:05:14	江藤氏資料が提出できる時期を、
0:05:19	0月の中の中で自分で書くということで、ちょっとこのページは
0:05:24	説明済みのところばかりなんでめくっていただきまして4ページとかです ね。
0:05:30	具体的に、例えば、
0:05:32	4ページの二つ目の1200の、
0:05:36	2番ですと、
0:05:39	資料提出。
0:05:40	田所理事、江藤。
0:05:43	時期を変えて、
0:05:49	ええ。
0:05:50	ちょっとですね
0:05:53	補足で説明させていただきたいところがですね。
0:05:59	めくっていただきまして11ページ。
0:06:04	11ページの、これ元ザイゼン店長コメントで調査コメン
0:06:10	別なんですけど、下から二つ目の7番目の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:14	コメント、これ底盤トレンチの北西法面の③ソウノM層下段の割れ目のようなものについて再確認すること等々、
0:06:24	ということで、ここ
0:06:26	重要なコメントを、
0:06:30	重要なコメントだと思ってまして今3月上旬。
0:06:33	提出時期というふうに入れてございますが、
0:06:39	今ここで、
0:06:41	全部出せるかっていうところはここについて今、上旬。
0:06:47	に、資料提出をして、その時にその時点での速報、
0:06:52	を説明して、最終的にはですねここ、
0:06:58	次のページの
0:07:00	現地調査の10番で、電話取れ直線法面の全体の数、
0:07:06	これは中旬、提出するんですけど、ここと合わせて、スケッチ2へと解釈とか入れる。
0:07:15	玉野江藤カワセその10番と合わせて提出するという考えなので、
0:07:21	その7番目については
0:07:25	3月上旬時点の送付をして、最終的な1回
0:07:31	解釈とか入れたのは、その次、その10番と、
0:07:35	工事の全体スケッチの時期とあわせて回答しようというふうに考えてございます。
0:07:43	変更した箇所、以上でございます。
0:07:46	説明。
0:07:49	あ、規制庁岩崎です。はい、説明ありがとうございました。
0:07:54	1点だけ確認なんですけど、
0:07:57	これ、
0:07:58	基本的に前回の、
0:08:02	G、
0:08:04	理事会が3月、
0:08:07	次回以降は、5月中旬、
0:08:11	理事会以降は、一応自治会も含んでいるっていう話だったんですけど結局、次回以降は、基本的に全部5月、
0:08:20	にしている。
0:08:21	15名再認識ですかね。すいませんちょっと完全にコウミウラベップクドウがちょっとシマダしなくて申し訳ないんですけど、
0:08:34	前回の自治会銀行協会、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:39	3月っていうものはですね、例えば、
0:08:42	最後の10ページの、
0:08:49	下から二つ目とか、
0:08:51	26とか27、
0:08:54	こちらの自治会一方で、
0:08:58	だから、
0:09:00	改正する3月の上旬の町知事会ってところなんです。
0:09:15	あともう1ページ目ですね、13ページ。
0:09:20	22番。
0:09:26	負担を、前回の資料では次回以降というふうに、
0:09:30	記載してございましたが3月上中。うん。
0:09:34	提出時期として書かせていただき、
0:09:38	規制庁岩崎です。ごめん。わかりました。ありがとうございます。
0:09:43	他何かございます。
0:09:48	じゃあ、スケジュールの方ですかね。
0:09:51	前回の面談で、伝えたことを、2、規制庁大村ですけど、反映していただ
0:10:00	いて、
0:10:00	いただくとともに、あれですかね、
0:10:05	4月、5月以降ですね、5月以降の審査会合も行っていただいて、あり
0:10:12	がとうございました。
0:10:12	それで、1点だけ、延長さ現地確認のところで、
0:10:19	90、
0:10:23	この間、18日にデータを、
0:10:28	これ、18日じゃないか、この間、
0:10:31	1週間前、18年10月ね。
0:10:35	18日に、
0:10:36	面談をやって、その時に、
0:10:41	コメントを話すと、
0:10:44	あとは、
0:10:47	あれですね詳細観察箇所とその状況っていう。
0:10:51	話をし、したんですけど、それはどこ、ここには入ってる入ってない。
0:10:58	入ってる。
0:11:06	これか。
0:11:09	スズキ踏まえてるところ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:11	8月18日のところ入ってってそういうことか。案件でございます。一応信州の面談は1行目、1月のうち、
0:11:21	イワサ層、
0:11:24	ちょっと現地確認、現地調査とのわけで、窓口、
0:11:32	両方に記載するという書き方もあるんですか。そうですね。ごめんなさい そうかそうか。私現地調査、現地確認の方見ていたんでごめんなさい、 目1杯で審査して、わかりました。
0:11:43	で、お伝えしたかったのは、
0:11:47	この間の面談資料もそうですし、今日のヒアリングの資料を、管理課と 部長に共有し、するとともに、打ち合わせをしたときに、
0:11:58	特に部長は、詳細観察場所の状況を、
0:12:05	すごく気にしてました。なので、
0:12:09	これは、
0:12:13	ヒアリングとか、
0:12:16	の、
0:12:17	時に、
0:12:18	合わせてっていう形でもいいですし、もし何か区切りが進捗して組み入 れがあったときには、また適宜、ご説明いただければと。
0:12:30	と思うんですけど。
0:12:31	その点はいかがでしょう。
0:12:37	わかりました。区切りがいいところで、たまたまヒアリングあった。そうっ すねし
0:12:43	なければ面談でもしれない。
0:12:51	あ、ちょっと、原電の神谷ですけど、ちょっと確認なんですけど、今、
0:12:56	ご指摘いただいた趣旨はですね、前回の1月、
0:13:00	18日の詳細観察(2)の請求、
0:13:06	資料提出予定が、
0:13:10	3月予定。
0:13:13	となってるのか。
0:13:16	4月予定となっている間にすぐあって、
0:13:20	過去の資料としては、面談で確認。
0:13:24	していただくということでの資料。
0:13:27	提出時期ということで3月予定。
0:13:30	或いは4月予定とこう書いた。
0:13:34	ということなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:36	それがこのスケジュールでは、
0:13:39	どこに書いてあるのかが、
0:13:41	見えないという趣旨でしたか。あ、ごめんなさい。私、多分二つ言っていて、一つの種一つ目の趣旨は、そうではなくて、この18日に面談したときの、
0:13:54	この資料が、この説明スケジュールのどこかというので、牟田さんからご説明いただいたことと、野瀬さんか、これ、
0:14:04	審査資料、18日の面談は、審査資料じゃなくだけじゃなくて現地調査及び現地確認の方でも記載しますということで、私は解決したんでしました。
0:14:16	で、二つ目は、
0:14:19	深見さんおっしゃる通り、
0:14:23	この資料では資料提示ということで、今後、面談で3月予定ということを書いてあるのは認識した上で、少し
0:14:33	中での議論を踏まえて、
0:14:36	その前、途中経過を、
0:14:39	途中経過であったり、何か、例えば、ヒシカワニシウチができました、写真が出そうとかいうふうにご報告いただければという。
0:14:50	趣旨でお伝えしたんですけど、ご理解いただけましたでしょうか。
0:15:03	ていうか神谷さんにお聞きしてるんですけど、ご理解いただけましたでしょうか。もし何か不都合があるのであれば、その理由をお聞かせいただければと思うんですけど。
0:15:17	ちょっと、
0:16:01	え。
0:16:02	と。
0:16:06	大変でカミヤです。
0:16:07	ちょっと、
0:16:09	わかりました。
0:16:14	ちょっと、何がヒアリングで何が面談か。
0:16:20	ちょっとまた次の時に直せばいいのかなとちょっと思ったんですけど。
0:16:26	いや、3月に面談って書いてないですよ。
0:16:29	これ、3月に面談っていうのがあってないので、
0:16:35	ヒアリングあくまで、
0:16:36	3月のヒアリングは3月下旬の審査会合に向けたヒアリングという趣旨で、この3市が、三角形のひし形は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:47	書いているので、
0:16:50	はい。
0:16:52	その詳細観察の、
0:16:55	面談で資料ベースか面談の時期までお若いでないだと。
0:17:03	すみません、きちんとまず私そんな難しいこと言ってるつもりなくて、
0:17:08	現時点の話と将来の話と分けた方がよくて、現時点で書くか、1月18日はもうこれ済んだことなんで、それは別に、ここに入れればいいだけじゃないかなと思う一方で、将来のことはちょっとわからないんで、多分ここに落とせないと思っていて、それは別にここに落としてくれとは、
0:17:25	言ってるつもりはなくて、もし、若月2月とかにあれば、それがあったときに落とせばいいんじゃないかなっていう、そういう整理って私はいるんですけど。はい。
0:17:37	いかがですか。はい。神谷ですけど、理解しました。そこがなければいいです。
0:17:44	詳細観察のところに書いてある3月といった時期自体が、
0:17:50	こちらには書いてないんだけど、それは今後のことだから、今後のときにまた反映すれば葬儀商品。いえ、そうですね。それを言い出すとっすね。はい。いえ、別に。
0:18:02	そこは、そういうことが生じたときに、
0:18:05	神谷さんおっしゃる通り、整合性が、
0:18:08	これはカミヤですけど、大事なことも言われたので、我々も大事なことだとわかりました。はい。はい。現状のサイトで砂田さんどうもありがとうございます。
0:18:19	今後のことですので柔軟に対応させていただく、いけるってことでしかしましたので、あと先ほど神尾ヤマシタけど重大な重要なことって言いますか、本当の
0:18:29	ポジションが気にされてるっていうのは、やはり中国だとか、そう、そうですね。先ほどの多賀野瀬からもですね、わかりましたって回答しましたよ。
0:18:38	あの中に、
0:18:40	すみません。
0:18:43	あ、はい。すみません。
0:18:46	講師は前、はい。お願いします。
0:18:50	どうぞ、規制庁イワサキあごめんなさいちょっと別件でスケジュール表だけですがこれ前回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:59	現地確認を、
0:19:01	4 月の上中旬にやりますよという話をしたんですがごめんなさい、細かい点ですけど今の 0 って多分中下旬の位置に打ってて、
0:19:11	難しそうですが常駐細かい点で申し訳ないんですけど、常駐人はちょっと難しそうでちょっと後ろにずらされた。
0:19:20	ということで、それでも、それとも何かすごい、
0:19:25	上中旬の中で、後として、
0:19:28	中の後ろの方、設計思想家としての準備とか、いろいろ考えたらここが
0:19:37	かなということをごめんなさい。ちょっと中心に置いたところじゃなくて中将中旬の中でっていうことをちょっとそうですか。わかりました。ごめんなさい。ありがとうございます。家田米山の現地確認の日程も、
0:19:50	また今後詰めていけば。すいません。あごめんなさいありがとうございます。すいません。細かい。
0:20:01	コメントの方もいいですか。はい。
0:20:05	Cトモダですけど、コメントリストの方で幾つか、まず 1 点目は、3 ページ目。
0:20:17	これをコメントNo.の 1187ーー3 なんですけど、
0:20:24	先ほど野瀬さんが、このページは説明済みですっていうふうに言われていて、ちょっと細かいところで申し訳ないんですけど、この 1187ーー3。
0:20:36	これは、
0:20:37	すみません、私だけなのかな。
0:20:40	確かに。
0:20:42	だから、11 月の審査会合でご説明いただいたんですけど、我々としてはそれで説明が済んでると。
0:20:52	認識はしていなかったもので、この 1202 回でも、同様コメントをしたと記憶しているんです。
0:21:02	るんですけど、
0:21:05	本社はどのようにお考えか、我々はそう考えてます。
0:21:10	我々だけ私は、
0:21:13	会社もそうですよね。
0:21:15	はいそうですね同じく、
0:21:18	その後は営業第一課に何回か現地調査とか、7 ページ、7 ページの件で 120。
0:21:26	そうですね。
0:21:32	上げ野瀬でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:35	等なので、
0:21:37	そのコメントは施設にしたんですけどその同じ。
0:21:41	回答できてないよってことでまたコメントいただいでるんでそっち側に、
0:21:48	シフトしたじゃないですか。
0:21:50	同じ意味としてはここ残ってるとは思ってますけど。
0:21:54	あと、ということで、今、
0:21:59	そちらのコメント該当する。
0:22:03	そこで
0:22:06	最終的には完成をする。
0:22:09	から、
0:22:11	1 回説明してその説明に対してのコメントが、その時の会合で、例えば、
0:22:18	衛藤。
0:22:25	10 ページの、
0:22:27	上から二つ目。
0:22:32	この前の会合 22 番。
0:22:35	についても、それは、
0:22:38	はい。
0:22:48	荒谷とか、この 24、24 番とか、
0:22:53	そのときは説明をしてるんだけど、
0:22:57	方法でもう 1 回コメントついたってことで、24 番の方には、江藤、説明済みにしちゃってこっち側にコメントの番号、そこが、
0:23:08	プラスね。
0:23:15	整備。
0:23:16	させていただいて、
0:23:27	24
0:23:30	メインのはかり方のお話でした。そうですね 7 ページの下から 2 番目の 1200。
0:23:39	ー24 というのを 1 回ここでは回答してるんですけど、
0:23:44	10 ページでの一番上に、
0:23:47	この 1224 番、
0:23:51	わあ、
0:23:55	くださいってということで、今度こっち側の方で説明する。
0:24:01	ちょっと今そういう整理に書かせていただいでます。
0:24:23	説明した、例えば何番とあわせて回答みたいな関連について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:33	どうぞ。今の、規制庁岩崎です。ごめんなさい。今の整理だと、多分 7 ページの 22 も、
0:24:43	1187 の、
0:24:46	多分さんとのコメントのリンクがわかるように多分、
0:24:51	書いてもらった方がいいのかなと思うのとあと、
0:24:55	多分相互でリンクしたほうがわかりやすいので、もっとコメントの方にも、
0:25:00	コメントというか
0:25:03	関連するコメントの番号。
0:25:06	を書いてもらってその総合輪的なもの。
0:25:11	がわかるようにしていただければ、
0:25:15	いいかなと思います。いずれにしろ今野さんからご説明いただいた整理だと多分、すでに
0:25:22	1200 人の 22 ニワ、
0:25:25	アノ、
0:25:26	オクモト会 5187、3 の番号が、
0:25:30	とりあえず組成でいくなれば、入るべきなのかなというふうには思いますが、いかがですか。
0:25:42	はい。
0:25:44	それと同じコメントを受けてそっちへ回答するつもりでそれと、
0:25:50	同じように該当しますみたいなリンクがわかるように、1、
0:25:53	セキ、
0:25:54	いたします。
0:25:59	規制庁です。はい。岩崎さんありがとう。私も全く同じことを考える。
0:26:04	そ、双方に家を管理する。
0:26:08	本日の番号、
0:26:09	少なくとも番号、
0:26:11	はい、はい。
0:26:13	補足すれば、
0:26:17	んじゃないか。
0:26:20	それが 1 点目です。
0:26:23	あと 2 点目は、
0:26:28	20 ページ。
0:26:32	配当時期についてなんですけど、さっき岩崎からも事実確認した通り、
0:26:41	ほとんど 5 月、
0:26:42	ほとんど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:43	六、七割の5月中旬になっいて、
0:26:47	その5月中旬中にも例えば4ページ目のこの一番上、1202--1。
0:26:54	これ、
0:26:56	回答時期んところ5月中旬括弧第1回現地調査にてご説明。
0:27:02	説明してるんことが、
0:27:08	説明したことを、
0:27:10	資料化して、
0:27:12	審査資料として提出するの、
0:27:17	後4ヶ月かかるっていうのは、
0:27:20	これはどういうことなんです。例えば、
0:27:27	大きなお世話かもしれないけど、
0:27:31	外の人から見たら、
0:27:32	これって何が起きてんだらうっていうんじゃないかなと思うんですけど、これはなんでその下、12月に現地で説明したことを加味して出してくださいが、
0:27:43	5月になるかちょっと。
0:27:45	確認させてもらって、
0:27:48	A、
0:27:52	貧しく。
0:27:54	現地で説明したんですけど、例えば、高層上部下部の話を、
0:28:00	説明して、現地調査で、
0:28:07	それに関するコメントし、追加でこういことを、
0:28:11	やってくださいっていう。
0:28:13	さっきの
0:28:15	衛藤。
0:28:17	まだ、うちの作ったやつだと足りなくてコメントをもらったということなので、そういうようなさっきと一緒にただけどその次のいただいたコメントと合わせて、回答スルーしないと、
0:28:31	終わらないというか、投票されないのかなということでそっちと合わせるってことで、
0:28:38	これに対する資料としては終わってんですけどその関連するといかねコメントと合わせての回答時期にして、
0:28:49	規制庁野川です。野瀬さんご説明ありました。それは多分あれですよ。前回の面談の時に、ある程度関連するものは、パッケージで説明しないと、やはり審査する側としても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:05	何ていうか、そのコメントに対して、我々としての結論評価っていうものが、
0:29:12	見いだせないからっていう、そういう、
0:29:15	趣旨だとは理解しているもので、例えばさっき 11 ページですかね、11 ページの投資家の 7 番のところですかね、あの例の底盤
0:29:25	この 3 コウノアノわれるところ、ここは、例えば 3 月下旬で速報で出します。他方で、
0:29:38	スケッチですかね、スケッチは、5 月中旬なんで、そ、
0:29:42	最終的にはそこでっていうことでここは、速報と最終版っていうこっちでこう段階踏んでやってるんですね。従って、
0:29:51	これ見てみないと見てみないとわかんないけど、もしかしたら、これ 3 月に速報版っていう形でもらっても、我々は速報であって、今、野瀬さんからご説明あった通り、その他の
0:30:03	データを見ないと、最終的な評価判断ができない、結論が出せない。
0:30:10	多分そういう状況になって、ここはさっき多分、
0:30:13	野瀬さんが言ってることと矛盾してるんじゃないかなと思っています。
0:30:18	確かに、小野瀬さんは、前回言われた通り、最終的にはやっぱり、全部必要な御社としての、
0:30:29	説明であるとか、それに必要なデータが出せないと、我々、
0:30:35	御社と
0:30:37	審査会合で議論もできないですし、それを踏まえて、最終的な
0:30:43	判断というものも評価もできないと思うものの、ただ、
0:30:50	ちょっとここはもしかしたら、
0:30:53	審査会合でっていうことになるのかもしれないですけど、
0:30:59	やっぱり我々としては、それは、
0:31:02	繰り返しですけど、
0:31:04	審査会合で判断するしないが、
0:31:07	判断するしないとかはできないと思うんですけど、あるデータは、なるべく早くあるデータなんじゃない。
0:31:15	カノウなコメント回答は早くもらいたいなと思ってますし、そこにももちろんさっき、MCのところで、留意事項じゃないですけど、これは速報ですっていうことを、
0:31:27	言ってもらったり、例えば今回の話も、
0:31:31	そうですね。
0:31:35	4 ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:37	この5層の上部、下部の区分のところも、
0:31:41	今回は現地調査でこういうことを説明したんで、該当します。ただしこれは、今後こういったコメントとあわせて、最終的な回答をしますとか、多分そういうやり方だってあると思うんですよね。
0:31:58	だから、ちょっとそこは、
0:32:03	そうですね、少し柔軟にご検討いただければと。
0:32:09	思い、
0:32:11	とりあえず、ヒアリングで事実確認ということなんで、ここまで、
0:32:16	止めますけど、いかがでしょう。
0:32:20	はい、承知しました。
0:32:22	ちょっとすぐにどうこうっていう意見解除ケースが持ち帰って社内で、そういうやり方もあるということで、検討させていただきます。
0:32:35	規制庁、野田です。はい。よろしく願います。多分、さっき、いや、私なんかと野瀬ササキ、
0:32:45	エムスのところで、これは速報です。これは最終版ですって、明確にしてもらえればそれは私、我々もさすがにその速報もらってそれで何か
0:32:56	ああだこうだとか、それで何かこう結論を見いだすようなことっていうのは基本的に、
0:33:01	できないと思ってますけど、ここでやっぱり
0:33:06	可能なコメントかやっぱり避難する側としてもなるべく早く、
0:33:11	御社がどういうデータに基づいてどう考えてるかっていうところは確認したいんで、ちょっとご検討いただければと。
0:33:23	何かこの点いかがですか。
0:33:28	そう。いえ、皆さんおっしゃっていただいて、
0:33:37	私はいいい。
0:33:41	他は。
0:33:43	スケジュール、
0:33:46	コメントです。
0:33:47	回答時期について、
0:33:50	何か、
0:33:52	大田、
0:34:00	よろしいですか。
0:34:05	あ、なんか、事業者、
0:34:08	から、
0:34:08	発足とかはございません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:13	先ほどちょっとお話あったんですけども、写真とかスペースとか時計で報告させていただくんですけど、
0:34:20	ちょっとまだ検討中の場所によって、赤木鳥井
0:34:25	という形でちょっと取った方が、現状維持とか、あと研究員採用されずにちょっと確認とかできるのかなとちょっと思ってるんですが、そのときに、それなので、写真とかスケッチとかお見せしてから、
0:34:41	はい、はい、その前からもやり出してしまっていさせてもらう。
0:34:47	恵。
0:34:48	ないかなとちょっと思ってるんですが、その辺はやっぱり、
0:34:52	施設とか写真とか見ていただいて、
0:34:54	それが見ていただいてから、何かそれはもう入れないので、そこまで含めてやってもらっていいよっていう、
0:35:02	ところなのかちょっとそこがアカシないかなと。
0:35:08	はい。はぎとり中っていうのはよくあるコウベリとかはして残すという、
0:35:17	スケッチを残すのはその剥ぎ取った後に、またそれでヨシカワ図れると思うんですけど、薄皮はがれて要はちょっと綺麗に
0:35:27	清掃されたような形に、下を向いた状態になって、そこを写真とかスケッチをしっかりと今後とっていくっていうそういう取らなきゃいけないなと思っています。
0:35:38	はい。うん。それは、場所はどこですか。ちょっとまだ具体的には決めてないんですけど。はい。北西面とかあの辺とかちょっとそういうふうに考えた方がいいかなと思ってるんですから。はい。
0:35:53	そりゃ剥ぎ取った後のやつが記録んスケッチとか、正式版になるので、それでもタダと。
0:36:02	思ってるんですけども、この場所を剥ぎ取りますよっていうのは必要かどうかっていうと、
0:36:07	もう別に、
0:36:08	剥ぎ取った後にまたそのスケッチとかが出てくるわけです。
0:36:15	アマンノ私はまあ、そんな流れでいいかなと思うんですけどちょっと、
0:36:20	今、今ぼっとはお話あったね他の人の。
0:36:25	もあるかもしれないのであんまりそれは支障ないかなあとは思ってますでしょ。はい。
0:36:31	特にねブロックとか取るっていうところそのものがなくなっちゃうんで、事前についていうことをちょっとお話したんですけどはぎとりはもうオオツカ入ってまた同じようなものは出てくると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:42	なので、
0:36:44	ちょっとそこは
0:36:47	何か、
0:36:49	どうしますアノヤカトウ、
0:36:52	多分、おっしゃる私は、
0:36:55	先方としては、その好き。
0:36:58	写真スケッチ側、
0:37:02	剥ぎ取り、
0:37:05	今までしなくてもいいと思うんですけども、しかも写真はちゃんと取りましたっていうのは、先に、
0:37:13	もうもらった方がいいんじゃないかなと思ってるんですけど写真、それは本当そうですけど、今はかなり時間が要するので、
0:37:24	ちょっとっていうのであれば、少なくとも写真はちゃんと取ってもらって一旦出してもらった方がいいかなと私は思ったんですが、いかがですかね。あとですね、
0:37:38	さっき、
0:37:39	新保助っ人。
0:37:43	なんか、
0:37:46	そこだけ。
0:37:47	パパ。
0:37:49	つくれない。
0:37:53	ところが、
0:37:54	変わってしまう。
0:37:56	絶対ない。
0:38:02	じゃない。
0:38:06	割と、
0:38:11	じゃないか。
0:38:13	まだ我々の中で、
0:38:17	変わってしまう。
0:38:22	写真とスケッチで一応括弧左から、
0:38:26	アオヤマ、
0:38:29	ちょっとそこはまた今ちょっと我々のスケッチまで入れるかどうかっていうのは、また変わったら変わるかもしれないですけど、
0:38:40	表と裏で変わったらどうかっていうところもあるかと思うんですけど、写真は少なくとも必要だと思うんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:48	あそこで邪魔写真を撮ってからまた確認して、剥ぐかとか、写真は残しておけばそれでいいのかとか、それがスケッチまでいるかどうかとか、
0:38:59	ちょっとまた、
0:39:00	人ですから、多分、
0:39:04	何でしたっけ。全然道路ピットとかふげん道路ピットで歴とかいっぱいあるから。はい。あれは、そもそもはぎ取りができるようなところですね ちょっととしてですかって話はもちろんあるんですね。ええ。
0:39:20	あと、多分、現地調査のときに、ごめんなさい。
0:39:25	部長か菅管理官か、どっちかをちょっと、
0:39:28	覚えてないですけどもあの写真はちゃんと取ってから、
0:39:32	ていうのは、確か、
0:39:34	申し上げたと。
0:39:36	思うので、
0:39:37	その辺も踏まえてちょっと、
0:39:42	一旦、うん。ちょっとこれ、我々の中で、
0:39:45	検討してからのの方が良いかな。
0:39:49	野村さん。
0:39:51	そうですね。
0:39:54	部長の上川もやっぱり、さっきちょっと私は詳細観察のところもCTも、やはり
0:40:02	現時点のものを必ず残すようにっていうことを言っていて、
0:40:07	多分、このはぎとりももしかしたら目的によっては、そういうことと共通するところがあるんじゃないかと思ってるんで、まずお願いしたいのは、もしそういうことを実際にやると決まったら、
0:40:20	ちょっと事前に一報いただきたいのと、あとは、
0:40:25	どこをどういう目的で、どれぐらいの規模感でやるのかとか、多分そういうことによって、もう、
0:40:35	これはわかるんすよ。
0:40:37	選択肢がもう剥ぎ取っちゃっていいのか、もしくは感じ取るマエネコウ写真とかスケッチを残してもらいたいのか、もらう必要があるのかとか、その辺のコウなんすかね、ここでカミタイラが変わってくると思うんですよね。
0:40:49	だからそこはやっぱり、今私が申し上げた通り、どこを、何の目的でどれぐらいの規模感でやるのかっていうところがないと、何とかす。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:59	中でも、内野管理官と相談できないんで、もしそういうことになってぜひおい。
0:41:08	その辺また進んで、具体的なりました。
0:41:14	さしていただきたいと思います。
0:41:18	規制庁は、いずれも事前にそういったことを検討されていると、いうことを今日、情報共有いただいております。
0:41:32	ありがとうございました。
0:41:34	あとはよろしいですか。
0:41:45	それでは、
0:41:46	続いて連続性の。
0:41:49	オオノ。
0:41:52	御説明を、
0:41:56	お願いした。
0:41:58	よろしいですか。
0:42:03	じゃ、連続性の方の説明をよろしくお願いします。
0:42:07	はい。
0:42:12	交換方針を評価会議。
0:42:18	農家法人
0:42:39	ページ育成、
0:43:05	比べて、
0:43:22	大丈夫。
0:43:26	では、
0:43:28	評価方針。
0:43:30	A断層等原子炉建屋通過する破碎との連続性登校にあたって、まず敷地の最低の連続性評価基準の策定を行います。
0:43:41	こちらの最低の連続性評価基準は、連続した最下位であることが確認されている時点での最後の清順調に基づいて作成しています。
0:43:50	減らそうと原子炉建屋を進め、このヒダカサイトウの連続性評価基準に基づき、K断層と原子炉建屋との間にある破碎部、
0:44:00	が、K断層と連続するか否かにより評価をしています。
0:44:04	また敷地の破碎体の連続性評価基準に基づく検討範囲はない。浅井。
0:44:09	走向傾斜の位置関係が、
0:44:12	基準外破碎部についても念のため確認を行います。
0:44:16	さらに、坑口がクボを用いて最新活動時期、着目算断層と、対象破碎部の連続性の検討を行っており、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:25	この評価方針をもとにした検討の流れを、ページの左側に、
0:44:30	それぞれの評価の概要を真ん中に、
0:44:33	用いたデータを右側に記載しています。
0:44:36	まず、検討の流れの1番目ですが、断層の分布及び性状の把握として、取引調査と調査、ボーリング調査を行い、コアの肉眼観察、
0:44:47	CT画像観察、薄片観察、断層学部の総合評価等を実施し、
0:44:52	断層の分布及び性状を把握しております。
0:44:55	次に、対象とすれば細部の位置及び性状を把握して、14本のボーリング調査を行い、コアの肉眼観察やCT画像観察、薄片観察、断層学部の総合評価等を実施し、
0:45:08	各破碎部の性状を把握しております。
0:45:11	次に、
0:45:13	断層の連続性評価を行います。まずは、一番右の調査で滝野引きます2号炉、基礎掘削面や自号炉基礎掘削面建屋南方斜面の地質観察データを用いて、
0:45:26	敷地のは最低の連続性評価基準を策定しました。
0:45:30	策定した基準に基づき連続性評価と連続性評価を行った結果、
0:45:35	評価概要の主要の江藤藤線で、あと、文字で下線が引いてある場所ですね、K断層の確認地点の最南部にあたる、ふげん道路ピットに隣接する。
0:45:46	24で1-1コウという破碎部、ボーリングコアの破碎部のうち、引地の破碎体の連続性評価基準に基づく検討範囲内に位置する破碎部は、
0:45:57	K断層と性状が類似していないということから、K断層とは連続しないものと判断しております。
0:46:04	次に、K断層の念のための連続性確認の一つ目として、
0:46:08	敷地の笠井田井の連続性評価基準に基づく検討範囲はないはず。
0:46:13	連続性に行いましたが、
0:46:16	両方のボーリングコアで確認がすべての細部について、K断層の性状とは明示しないことから、K断層はこれらの南方にあるボーリング調査の範囲は連続しないということを確認します。
0:46:28	さらに、K断層の念のための連続性確認の二つ目として、鉱物脈法に基づく検討を行い、
0:46:36	DM分析、XRD分析、薄片観察等の結果から、引地の葛西田井の連続性評価基準に基づく検討改善に資する、すべての破碎部について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:47	少なくとも後期更新世以前生じた最新の熱水活動以降は活動していないという判断を行ったり、K断層の最新活動時期とは大きく異なっていると、いうことを確認しました。
0:46:59	以上のことから、一番下の橋野田子の通り、K断層は原子炉建屋ちよつと数ヶ所で抑えたいと、連続していない。
0:47:07	判断をいたしました。
0:47:09	以上が、断層の連続性評価更新統評価の概要になっております。
0:47:15	この検討の内容の詳細について、本編資料を切ってご説明したいと思います。
0:47:26	K断層の原子炉建屋を通過する破碎タイプの特性
0:47:41	1-4、
0:47:50	1-4 ページには、
0:47:51	断層の活動性評価に関してまとめてございます。
0:47:56	審査会合等によってご審議いただいておりますので、詳細な関係、説明は省略させていただきますが、
0:48:03	提案の分布及び性状については、連続性評価の前提条件となりますので簡単にご説明します。
0:48:10	一番上のところに記載している内容なんですけども、断層は電話、トレンチの北西法面からふげん道路ピット中央付近まで連続して認められます。
0:48:20	そこは、主にN-S倉庫から、
0:48:24	NNE-SSW方向ですが、底盤トレンチ、ピットの底盤においては、
0:48:31	LW是正方法となります。
0:48:34	計算は府中から高角度の西傾斜となっております。
0:48:38	最後はミツイ変質を伴う特性と、断層ガウジで最新活動時期の変位センスはいずれ破碎部も逆断層センスが卓越しています。
0:48:49	また、丸井層以上の地層に変位変形を与えており、
0:48:53	133±休憩以前に堆積した③層の上部の地層には変位変形を与えていません。
0:49:00	今述べた分布及び性状を前提としてK断層の連続性評価についてご説明します。
0:49:06	2-3 ページを、
0:49:11	まず、
0:49:12	うちの最低の連続性評価基準に基づく連続性評価。
0:49:16	についてご説明します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:18	K断層に限らず、債券の連続性等を行うにあたっては、敷地の葛西さんの連続性とか基準に基づいて、連続性評価を実施しております。
0:49:28	2-4 ページをお願いします。
0:49:32	箱書きの 1 ポツ目。
0:49:35	ヒグチのは最低のレベル、評価基準については、連続期間最低であることが確認されている 2 号炉基礎掘削面及び 1 号炉原子炉建屋南方斜面の地質観察データを用いた検討を行い設定しております。
0:49:48	箱書きの 2 ポツ目で葛西田井の層厚については、提示の左側の図で示しています、2 号炉基礎掘削面の臍帯分布図、連続している破砕体について、
0:50:00	5 メートル、10 メートル 20 メートルのサンプリング間隔で、基礎掘削面のスケッチからそう後続し、隣ありていの破砕部の位置関係層厚の差を整理しております。
0:50:12	箱書きの 3 ポツ目。
0:50:14	最低の傾斜についても層厚と同様の整理を、2-5 ページのスケッチを示します、1 号炉原子炉建屋南方斜面に対して実施しております。
0:50:24	2-6 ページをお願いします。
0:50:29	連続する破砕体の層厚について整理した結果を示しております。
0:50:34	真ん中に連続する破砕体の模式図という図を記載してるんですけども、この図のうち、黒い直線が破砕体を上から見た際に来て、その破砕体の、
0:50:45	ポイントAとポイントBという 2 点の損を、それぞれ赤い直線で示しております。
0:50:52	このとき、ポイントAの走向方法から何度以内の位置にポイントBが位置するかを整理した結果が、上に示している青で囲った三つの、
0:51:01	グラフになります。
0:51:03	ポイントAとポイントBの間隔を左から 5 メートル、10 メートル、20 メートルと変化させていますが、すべての場合で、ポイントAの走向方向から見て、
0:51:14	±20° 以内にポイントBが位置する、幾何学的、近くにあるということがわかります。
0:51:20	また、ポイント、そういう時の走行性について整理した結果が下の三つ、赤い枠で囲ったグラフになっていまして、
0:51:28	こちらについても、ポイント、Dの間隔を左から 5 メートル、10 メートル、20 メートルと変化させています。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:37	すべての場合でポイントAとポイントBの層厚の差が±20° 以内となるような、層厚の類似性があることを確認しております。
0:51:46	2-7 ページをお願いします。
0:51:51	連続する破砕体の傾斜についても、同様の整理をしておりますその結果を示しております。
0:51:59	今度は真ん中の図のうち黒い黒線を破砕体を横から見た。
0:52:04	最後に模式図を示していきまして、その破砕分の 1 ポイントAとポイントB という 2 点、2 点の傾斜をそれぞれ深い直線で示しています。
0:52:13	このときポイントAの傾斜方向から何度以内にポイントBが位置するかというのを整理した結果が左の
0:52:20	青枠で示す、囲っている三つのグラフになっていきまして、上から 5 メートル 10 メートル、20 メートルと間隔を変化させています。
0:52:29	こちらについては、すべての場合でポイント系の傾斜方向から見て、± 20° 以内ポイントBが位置する、比較的位置関係があることがわかります。
0:52:39	また、ポイントAとポイントBの傾斜について整理した図が右側、赤枠で囲った三つのグラフになりますが、こちらについても、ポイントABの間隔を上から 5 メートル、10 メートル、20 メートルと変化させていきますが、
0:52:52	すべての場合において、傾斜の差が±90° 以内、フジイという、傾斜の類似性があることを確認しました。
0:53:01	もう一度、2-4 ページをお願いします、
0:53:07	箱書きの 4 ポツ目。
0:53:09	先ほどまでご説明した通り、
0:53:11	総合及び傾斜等もサンプリングの間隔によらず、隣り合う 2 点目が最後は一本の層厚または傾斜の±20° 以内であり、
0:53:22	倉庫等傾斜の類似性があることを確認しました。
0:53:27	また、定例の左側の図で示していきまして 2 号炉基礎掘削面の破砕分布図及び定時の下側の拡大範囲。
0:53:36	書いてあるところについてと凡例の通り、色つきの丸を用いて各起点の破砕部の性状していきますが、
0:53:44	すべての破砕で、赤丸と青丸の共存が認められず、連続する破砕体については、性状が類似しているということを確認しました。
0:53:55	同様に、変位センスのデータが見られた時点においては、凡例の通り、矢印は発マークを用いて各支店の変位センスを示していきませんが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:06	すべての破砕しててカガワが逆転していなかったり、右がずれと左上の共存が認められず、
0:54:13	連続する破砕については、変位センスも類似していることを確認しました。
0:54:18	以上のことから、箱書きの5ポツ目、最後のポツですが、連続した破砕性については、精神活動、生成された破砕部の性状、
0:54:27	断層がイノマタ断層角れきの有無や、明瞭なせん断構造変形構造の有無、
0:54:32	条線方向及び最新活動ゾーンの変遷す、これらの類似性があることを確認しました。
0:54:39	2-8ページをお願いします。
0:54:47	連続した火災での検討結果を踏まえ策定した、敷地の破砕前の連続性評価のフローを左側にその模式図を右側に示しております。
0:54:58	フローの一つ目のひし形、幾何学的位置関係の確認として、起点破砕部から、走向傾斜 $\pm 20^\circ$ 以内の範囲の破砕部かどうかをまず確認し、
0:55:09	$\pm 20^\circ$ 以内の災害の範囲外の破砕部については起点破砕部が連続しないと判断します。
0:55:16	対応する模式図が右側の三つの図ノザキー番上の図で、
0:55:21	オレンジの範囲を示す、左下の起点破砕部から見て、走向傾斜が $\pm 20^\circ$ 以内。
0:55:31	の破砕部かどうかをまず確認しております。
0:55:34	模式図で言いますと、オレンジの範囲に含まれない、細部については、連続しないと判断し、灰色で示しております。
0:55:43	一方、この範囲に含まれる破砕部は連続する可能性がある破砕って緑色で示しております。
0:55:50	次にフローの二つ目の引き方、総合傾斜の類似性の確認として、起点破砕部等、走向傾斜との差が $\pm 20^\circ$ 以内かどうかを確認し、
0:56:01	$\pm 20$ ドイ票の差がある破砕部については、起点破砕部とは連続しないと判断します。
0:56:08	ただ、対応する模式図が、真ん中の図で、一番上の図で緑色だった三つの破砕部のうち、真ん中の破砕部については総合傾斜が $\pm 20$ 度以上のため、
0:56:20	起点部破砕部とは連続しないと判断し対応で示した。
0:56:25	一方、一つ上の図で緑色の三つの破砕部のうち、左上のファイルと、右下の破砕部は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:32	起点破碎部等、走向傾斜の差が±20° 以内のため、MK段階で連続する可能性があるという、
0:56:39	引き続き緑色で示しています。
0:56:43	次にフローの三つ目のひし形、最新活動で形成された破碎部の性状の類似性の確認として、断層ガウジ断層確立の有無、
0:56:52	それから明瞭なせん断構造変形構造の、
0:56:56	条線コウ最新活動ゾーンを變遷するといった性状が起点破碎部と類似しているかどうかを確認し、
0:57:03	類似していない火砕物とはへ連続しないと判断します。
0:57:08	なお、類似性の判断については、次のページで、より詳細にご説明します。
0:57:14	最後に、フローの四つ目の引き方。
0:57:17	最新活動以前に形成された破碎部の性状等の類似性の確認として、
0:57:22	こちらに記載されています 4 点について、認識、類似していない破碎部とは連続しないと判断します。
0:57:29	三つ目のひし形及び四つ目のひし形に対応する模式図が、右側の模式図の一番下の図になってまして。
0:57:36	真ん中の図で緑色だった二つの補正のうち、
0:57:40	左上の破碎は性状等が明示していないため、起点破碎部とは連続しないと判断し、灰色で示しております。
0:57:47	一方、真ん中の上、緑色の二つのうち、右下細部については、起点破碎性状が類似しているというため、連続する可能性がある破碎部として引き続き緑色で示しています。
0:58:01	これら四つのひし形で示した判断基準クリタクリアしたサイズについては、
0:58:06	添削と連続する販売であるというふうに判断をします。
0:58:12	2-9 ページお願いします。
0:58:16	前のページでご説明した連続性評価フローに沿って、実際に連続性評価を行った具体例をお示しております。
0:58:24	表の 2 行目に、今回の例で、連続性評価の起点とした破碎部である、提起 19 のNo.4 孔の⑩破碎の整理をされております。
0:58:36	表の 3 行目より下に代表する長谷ボーリング孔で認められた破碎部、
0:58:42	今回の例ですと、参考の破碎部を記載してまして、
0:58:47	この各破碎部について左に前のページでご説明した連続性評価フローに基づいた判断結果を左から順に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:55	示しています。
0:58:57	まず、上の緑色の文字で幾何学的位置関係の確認、書いてある部分について、
0:59:05	起点の破碎部の走向傾斜から±2 程度以内の範囲にあるかどうかを確認し、範囲内にある破碎部を緑の発注をつけて示しております。
0:59:17	次に、走向傾斜の類似性の確認として、総合傾斜の差が±20° 以内かどうか確認し、±20° 以内の破碎部の、
0:59:26	走向傾斜の欄を、薄い顔ハッチで示しています。
0:59:32	次に、最新活動で形成された破碎部の性状の類似性の確認として、
0:59:38	まず、断層ガウチ断層隔離の有無及び、明瞭なせん断構造変形構造の有無の類似性を確認しております。
0:59:47	ここで衛藤断層がユリ断層角れきの有無の評価方法及び具体例について、活動性の本編資料と補足説明資料 2 を用いて、その判断をどのように判断しているかをご説明。
0:59:59	したいと思います。
1:00:03	この活動性の資料も、
1:00:05	1-86 ページ。
1:00:29	肉眼観察に断層が区分の評価フローを示しております。
1:00:35	それから、まず肉眼観察の実施。
1:00:38	後ですね、コーナーをまず確認し、
1:00:41	講師であった場合には硬くれないことを考えて、
1:00:45	硬質ではない場合はカタクレサイト断層ガウチ断層角れきの特徴が認められるかを順番に確認していきますが、
1:00:53	すべての特徴が認め、認められない場合でも、肉眼観察結果としてはアンゼンガワニ断層ガウジとして扱うことと、おります。
1:01:02	なお、各区分の特徴については、このフローの右側に※書き、※1※2※3 ということで書いておりますが、これらは、1-86、87 ページ、お示ししている。
1:01:13	文献調査結果を踏まえて着眼点を設定しております。
1:01:19	85 ページ。
1:01:23	こちらには薄片観察による断層が区分の評価フローを示しております。
1:01:29	薄片観察においても、断層があり、断層隔離、カタクレサイトの特徴が認められるかを順番に確認していきます。
1:01:38	断層があるの特許が一つでも認められた場合には、断層ガウジもしくは断層がクリープと判断。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:45	なお、各区分の特徴についてはこちらのフローの右側に、
1:01:49	※書きで記載しておりますが、これらは、1-88、89 ページにお示している。
1:01:55	文献調査結果を踏まえて、着眼点を設定しております。
1:01:59	このページの一番下の括弧
1:02:02	肉眼観察と、薄片観察のどちらも野瀬草も獲られた場合には、両者の観察から獲られた性状に矛盾がないことを確認した上で、断層学部の総合評価を行い、
1:02:14	断層ガウジ、断層学歴、カタクレーサイト及び変質したカタクレーサイトに区分をしております。
1:02:21	評価の具体例として、124.1-1 コウ、シノ 58.96 から 59、35 メートルという破碎部についてご説明したいと思いますので、今度、補足説明資料に、
1:02:34	お願いし、
1:02:41	補足説明資料の 2 の 62 ページ。
1:03:03	62 ページでは、肉眼観察による断層額についてお示しており、
1:03:10	コア機器観察の結果であるボーリング柱状図でサイズされている範囲について観察を行っており、
1:03:18	こちらの例として破碎部では深度 59.16 から 59.18 メートルの範囲について、
1:03:25	搬出で細粒部の連続性及び直線性が良く、原岩組織が務める案件を主体とし、基質の細粒化観点から成る組織が認められないことから、
1:03:36	肉眼観察による断層学部は断層ガウチであると判断し、その他の範囲は、変質したカタクレーサイトであるというふうに判断をしております。
1:03:46	63 ページをお願いします。
1:03:50	浅井では、薄片を作成していますので、作成機を示しております。
1:03:55	薄片は、肉眼観察によって断層ガウチ判断した範囲を含むように作成しております。
1:04:01	64 ページ。
1:04:06	5 ページは薄片観察結果を示しております。
1:04:09	箱書きの下に山根が五つついてるんですけども、
1:04:13	この、こういった特徴が認められたため、薄片観察による断層学部は、断層ガウジ活動判断しております。
1:04:21	また、写真病院、赤線や青線で示す、R1 面、P面といった複合面構造を認めていて、正断層成分が確立するということを記載しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:35	6566 ページには、加来山根で示した特徴を拡大写真でお示しており、
1:04:42	例えば、66 ページの図の 3 では、粘土鉱物の定向配列について矢印を用いてお示しております。
1:04:52	67 ページをお願いします。
1:04:57	本破碎部では、肉眼観察及び薄片観察のどちらの断層が 6 分の結果も獲られたため、断層学部の総合評価を実施しております。
1:05:06	青井沖矢印の下の箱書きですが、江藤浅井については、肉眼観察及び薄片観察を踏まえて、断層ガウジを伴うというふうに評価をしました。
1:05:19	さらにその下、一番下には断層が区分に関する評価を取りまとめております。
1:05:25	断層がユリ断層角れきの有無の評価方法や具体については、以上となります。
1:05:31	本編資料の 2 のページ、
1:05:49	今ご説明した断層が 2 断層、隔壁の有無の評価結果も踏まえまして、類似性の判断についてご説明します。
1:05:58	ページの左下に
1:06:01	断層がヤギ断層確立の部分及び明瞭なせん断構造変形操業の部分の類似性の判断と記載した箇所がありますのでそちらを行う。
1:06:12	起点破碎部と候補とする破碎部性状の組み合わせごとに、どのように類似性を判断しているかというのを示してございます。
1:06:21	青ハッチがついている組み合わせについては、一致するもの。
1:06:25	青枠がついているものについては、類、類似するものとして判断し、グレーはっきがついている箇所については、類似していないものとして判断しております。
1:06:36	グレーハッチがついていますのは、表のみ、左下と右上の 2 ヶ所です、
1:06:41	断層側に断層学歴の有無があり、明瞭なせん断構造変形構造からありの破碎部と、
1:06:50	断層ガウジ断層隔離の有無がなくて、明瞭なせん断構造変形構造の有無が、
1:06:56	伴浅井。
1:06:57	の組み合わせの場合のみ、
1:07:00	こっち、これらの類似性がないと判断し、連続しないというふうに判断をしています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:07	上の表に戻りまして、次に、条線本条線方向及び変位センスの類似性を確認します。
1:07:15	ページの下の中央の条線方向及び変位センスの類似性の判断と記載した箇所をご覧ください。
1:07:24	類似すると判断する場合として、上に2点記載してあります、1ポツ目。
1:07:30	なお、起点と東海起点破碎部と当該笠井部の条線方向の差が±45度以内、かつ、
1:07:38	鉛直方向また水平方向のセンスのある場合、
1:07:42	と、2ポツ目。
1:07:44	条線高枝が獲られておらず、かつ、左決めてあります。
1:07:48	館等分した変位センスが起点と当該破碎部とで隣り合う場合、
1:07:53	この二つの場合については、行政報告及び変位センスが類似していると判断します。
1:07:59	一方、類似していると。
1:08:01	類似していないと判断する場合として、下に2点書いてあります、
1:08:06	1ポツ目、起点と当該破碎部の条線の差が±45度以上の場合、
1:08:12	2ポツ目、検討当該破碎部の行政報告の差が45°以内であるが、鉛直方向及び水平方向のセンスが逆の場合、この二つの場合には、条線方向及びセンスが類似していないと。
1:08:25	いうふうに判断をします。
1:08:29	最後に、表の方にもう一度戻っていただきまして、
1:08:33	一番上で記載している箇所ですけれども、最新活動以前、形成された破碎部の性状等の類似性の確認として、右下の最新活動以前に形成された破碎部の性状等の類似性の判断。
1:08:47	と書かれた8コウノ、
1:08:49	※1から※4についてを確認します。
1:08:53	今回の例ですと、1-24、B11-1コウ、丸さん、浅井ふ頭24、B11-2コウノ03、浅井久我。
1:09:04	最後、最新活動面、最新活動以前に形成された破碎部の性状等の類似性まで、生き残っております連続する可能性のある破碎部として残りますが、
1:09:17	一番右の
1:09:19	破碎面の箇所にグレーハッチがかかっていますけれども、
1:09:24	124、B11-2コウノ03破碎部は、すでに他の破碎と連続するというふうに評価を判断しておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:33	この 1、19 のナンバー4 の、
1:09:36	⑩破砕部は最終的には連続性評価の結果として 124、B11-1 コウノ 03 はサイトウ連絡すると。
1:09:45	表の右から 2 列目、連続性検討結果に丸を記載してございます。
1:09:52	印象が連続性評価フローに沿って実際に連続性評価を行った具体例になります。
1:09:59	2-10 ページをお願いします。
1:10:04	冒頭ご説明した通り、K断層の確認規定の 3、最南端はふげん道路ピットであることから、隣接するボーリング孔である平均 24 のD1 の 1 個のうち、
1:10:17	敷地の破砕点の連続性評価基準に基づく検討範囲にある破砕部との連続性を検討しました。
1:10:23	下に示している図は、平面図は、電話の連携とその南方の平面図を示しています、
1:10:30	緑枠で囲ったフタは、きちんと書いてあるについて次のページにお示します。
1:10:35	2-11 ページをお願いします。
1:10:40	平面図上の
1:10:42	赤線がK断層の方針を引きまして、
1:10:46	黒い丸が、124.1-1 コウ、それから、27、Dの 1 個。
1:10:52	1 年、27、Bの 2 行の掘削inch。
1:10:55	そこから伸びる黒い直線がそれぞれのボーリングを示しています。
1:11:00	また括弧で確認された破砕部については、凡例の通り、破砕部の性状ごとに色分けをして、白抜きのマルで示しております。
1:11:08	0 から出ているこの短い直線については各破砕の層厚を終了しており、
1:11:14	K断層の南端から見て、電気 24.1 の 1 個はすぐ南に建設しており、
1:11:22	2-12 ページをお願いします。
1:11:28	24 ページの位置構造の地質断面図となります。
1:11:33	先ほどと同様に破砕部を白抜きのマルで示しており、断面図においては、0 から出てる短い直線が各破砕部の傾斜を示しております。
1:11:42	そして、オレンジの破線で囲まれた範囲がK断層の確認規定である。
1:11:48	最南端の確認起点であるふげん道路等を起点として、
1:11:52	設計断層の走向傾斜から±20° の範囲を、
1:11:56	比較的位置関係を示した範囲となっております。
1:12:00	図示されている通り、①-1 破砕部から、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:04	05 破砕部までの 7 破砕部が、この連続性評価基準に基づく検討範囲に含まれます。
1:12:12	2-13 ページをお願いします。
1:12:16	前のページをお示したナカセ部の、
1:12:20	災対の連続性評価基準に基づいて布施断層の連続性評価の結果についてお示し引きます。
1:12:27	まず、表の 2 行目ですけども、K断層の走向結果、N-5W、傾斜が 67 Wであるのに対して、
1:12:35	走向傾斜の差が±20° 以内の破砕部は、
1:12:40	表の中央で、薄い青ハッチのかかっている。
1:12:43	①-1 破砕、①-3 破砕部、
1:12:47	これが④浅井、
1:12:49	3 破砕になります。
1:12:52	次に、K断層は、断層側に断層か不利の分があり、アノに対して、
1:12:59	類似しているのは、先ほど述べた 3 破砕部のうち、濃い青ハッチのかつていう、④は最近になります。
1:13:08	最後に、K断層は逆断層センスであるのに対して、④破砕部は、正断層センスとなっており、類似していないということが確認されます。
1:13:19	以上のことから、表の右から 2 ですね、連続性検討結果はすべて×と判断されます。
1:13:26	よって、箱書きの 2 ポツ目。
1:13:28	元 24 ページの 1 項の火災、
1:13:32	このうち、敷地の破砕体の連続性評価基準に基づく検討範囲内に位置する破砕部については、K断層の性状と類似していないことから、K断層と連続していないというものと判断しましょう。
1:13:47	2-15 ページをお願いします。
1:13:53	これまでご説明した敷地の破砕体の連続性評価基準に基づく連続性評価以外に、念のための連続性確認。
1:14:01	で、じゃ、結構御説明。
1:14:04	2-17。
1:14:10	まずは、敷地の破砕体の連続性評価基準に基づく検討範囲にはない火災、
1:14:16	この連動性確認をご説明します。
1:14:19	2-18 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:24	過去の断層の走向が局所的に変化しているのご指摘も踏まえ、24-01の1項のうち、
1:14:33	先ほどまで評価を行った破砕部ではない、そ検討範囲外の火災、⑥細部から⑬の破砕部までの発着タイプについての年度全国に行っております。
1:14:45	2-19ページをお願いします。
1:14:50	K断層と、前のページでお示したのは、8破砕部と比較した結果を示しております。
1:14:56	中央付近、比較対象との倉庫の差。
1:15:00	弊社の差という箇所をご覧くださいと、8破砕部すべてについて走向傾斜が±20度以上となっている。
1:15:08	ということがわかります。
1:15:10	このことから、表の右から2列目。
1:15:12	連続性検討結果はすべて×と判断されます。
1:15:16	よって箱書きの通り、124で1-1号で確認されたすべての細部は提案者の成長と類似していないということから、K断層と連続しないことを確認しました。
1:15:28	2-20ページをお願いします。
1:15:33	箱書きの1ポツ目、さらに平均24で1の1項から重要施設までの間で実施したボーリング孔、全部で13個ありますが、
1:15:43	確認されたすべての破砕部についても、あわせて連続するかというのを実施し、
1:15:49	2-20ページ、今開いてるページでは、
1:15:53	A市の学校のさらに小南の27Dの自己沿いの地質断面図を示しております。
1:16:00	こちらの方では19の発生が確認されております。
1:16:05	2-21ページ。
1:16:10	19の破砕部のうち、①から⑩までの18歳分について連続性の確認を行った結果となります。
1:16:18	詳細なご説明を省略させていただきますが、総合傾斜の類似性や細部性状と類似性の観点から、
1:16:25	兵庫の右から2列目、連続性検討結果すべて×と判断されます。
1:16:32	この後についてはすべてのボーリングについて、
1:16:37	連続性の確認、断面図が、
1:16:41	記載しているんですけど、ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:43	時間の都合上、省かせていただきまして、
1:16:47	2-43 ページ。
1:16:56	今、説明は省略させていただい
1:17:00	14、3、
1:17:01	アベについて、
1:17:03	すべての破碎部絶景断層と性状が類似していないことを確認して ございます。
1:17:09	箱書きの 2 ポツ目。
1:17:11	K断層と、24 の定期の 1 コウかな、重要施設までのアダチ比嘉ボーリン グ孔、13 コウノすべての破碎部について、K断層の性状と類似する破 碎部がなかったことから、
1:17:23	K断層、これらの南方にあるボーリング調査の範囲が連続っていないと いうことを確認しました。
1:17:30	2-45 ページをお願いします。
1:17:34	次にコウフナツハママツ変更についてご説明。
1:17:39	46 ページをお願い
1:17:43	まず、鉱物脈法に基づく検討方針についてご説明します。
1:17:48	箱書きの 1 ポツ目。
1:17:50	K断層、K断層の南方の破碎部の最新活動時期について比較検討を行 っております。
1:17:57	企画担当にとっては、南方破碎部の最新活動時期を、鉱物脈法に基づ き評価をしました。
1:18:05	次 2 ポツ目、鉱物脈コウによる評価については、K断層の南方の破碎 部のユキ
1:18:12	K断層を確認しての最南部にあたる、ふげんのオプトに隣接する利益 24 で 1-1 号で認められた破碎形。
1:18:20	敷地の破碎の連続性評価基準に基づく検討範囲にある破碎部、
1:18:25	つまり断面図に、右につけております断面上で、オレンジのページで囲 まれたはい。
1:18:31	赤枠で囲った範囲に含まれる 7 破碎部について検討を行いました。
1:18:37	最新活動時期の比較に関する検討の流れを矢印を用いて示してありま す。
1:18:43	提案書の最新活動時期については、右下にちっちゃく書いてありまし て、冒頭ご説明。
1:18:50	0 一層以上。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:53	水族以前の地層である③層上部の地層に変形を与えていないというふうに評価しております。
1:19:00	K断層の南方の破砕部の最新活動時期については、左側に流れております。
1:19:08	一番、鉱物がこの前提となります。浅井部の粘土鉱物に関する検討につきましても、活動性の資料の4、
1:19:16	内容を記載してございますので、こちらには結論のみ記載しております。
1:19:21	また、対象とした各破砕部について、最新活動ゾーン及び最新活動面の認定を行った後、
1:19:28	破砕部の活動を示す痕跡の確認。
1:19:31	具体的には、粘土鉱物が最新活動面を横断しているという状況もしくは、鉱物脈が最新活動面、不明瞭かつ連続にしている状況を、
1:19:43	薄片観察やEPMA分析によって確認し、最新活動時期の評価を行っております。
1:19:50	こちらの結果は次のページに示しており、
1:19:54	今ご説明した検討のうち、最後の粘土鉱物に関する検討と、
1:19:59	最近活動損及び最新活動面、日経の方向については、活動性の資料1に記載しておりますので、まずそちらをまとめてご説明したいと思います。
1:20:11	活動性の本年資料の1-21ページ、
1:20:32	敷地のコウジャク花崗岩に破砕部認められる粘土鉱物、
1:20:36	粘土鉱物の成因及び最新の変質作用の時期について検討してございます。
1:20:43	マルチ、
1:20:45	粘土鉱物の成因としては、露頭観察、XRD分析、長石類のEPMA分析の3点から総合的に勘案検討をして、
1:20:54	また、②の変質作用の機器の検討としましては、粘土鉱物のカリウムアルゴン年代測定を実施しております。
1:21:02	まず、①粘土鉱物の成因のうち、露頭観察結果についてご説明しますので、
1:21:08	一番、すいません。
1:21:11	ご説明します露頭における変質対応の状況について分類要素もあつたり、その結果を1-22から24ページに示し、
1:21:22	ちょっと詳細は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:26	いただきまして、1-25 ページを、
1:21:33	詳細なご説明は割愛させていただいたんですけども、
1:21:38	その前のページにまとめております文献における露点同等の、
1:21:43	製品再ゴコウムタ花崗岩の露頭観察結果を参考に、敷地における破砕部とその周辺の変質の性状を、
1:21:51	観察日、取りまとめております。
1:21:54	D14 は最大株数で 14 期溶炉とという場所の観察結果になりますが、
1:22:00	文献の値製品主催の特徴と同様に、幅数ミリメートルから数センチメートルの
1:22:06	白色の粘土細脈が網目状に分布し、全体的に軟質化している状況が認められます。
1:22:13	このことから、こちらは寝せ変質作用の影響で軟質者が 2 日したものと考えております。
1:22:21	1-2627 ページには、電話は最低が噴出する電話トレンチ北川と、
1:22:27	及び、13 は最低限する、2 号炉原子炉建屋、
1:22:32	南側道路剥ぎ取り部での観察結果を掲載していますが、同様に熱水変質作用の影響で軟質し、軟質化したと考えられる状況が認められます。
1:22:43	1-28 ページをお願いします。
1:22:48	XRD の設計、
1:22:52	網目状に発達した年度生命線について把握するため、最後の断層が通過した鋼板及び新鮮な花崗岩について、
1:23:03	エックス線解析を行っております。
1:23:11	その結果、
1:23:13	雲母粘土鉱物や香りナイトウの生成が認められましたが、
1:23:18	加工班の風化部及び強風化部にはスメクタイトが含まれていませんでしたので、
1:23:24	また、最後の断層側には、新鮮な花崗岩と比較して、斜長石では、会長席の割合が少なくなっております。
1:23:33	以上のことから、最後は密生変質を受けているというふうに判断をして、
1:23:40	各地点での XRD 分析の詳細の結果というのを、1-29 から 46 ページに勤めていますが、御説明は、
1:23:52	1-46、7 ページ。
1:23:59	次に、長石類の EPMA 分析の結果について、
1:24:03	敷地における熱性ニイツの状況については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:07	一般財団法人日本建設情報総合センター199 という論文の演出区分を参考に、変質作用の程度に応じて四つに区分しております。
1:24:19	このEPMAの分析については、この変質区分に基づいて資料の最初は分析の結果の整理、
1:24:25	あります。
1:24:27	1-48 ページをお願いします。
1:24:32	長石類のEPMA分析に関する市場最終規模及び費用採集地の演出区分を整理しております。
1:24:41	1-50 ページ。
1:24:46	TMA分析の結果を、横軸がアルバイトに、
1:24:50	縦軸が頻度のグラフでまとめております。
1:24:53	左上の赤色のグラフが変質分散、右上、緑色のグラフが変質区分に、
1:24:59	左下、青色のグラフが新洗顔演出区分 1 を示しております。
1:25:06	グラフを見ていただければわかる通り、建築部の程度が大きいものほどアルバイト率が大きいことから、
1:25:13	こちらもね製品引き下げによって曹長石化したものと判断しております。
1:25:18	昨日、50、
1:25:23	失礼しました。今野。
1:25:25	49 ページです。
1:25:29	1-50 ページ。
1:25:33	三角ダイヤグラムを、
1:25:35	はい、ページをお願いします
1:25:38	EPMA分析の結果を三角ダイヤグラムでまとめております。
1:25:43	左下演出区分 3 の総調査社長セキについては、すべて曹長石に分類されると、ということが結果としてわかっております。
1:25:54	BPM分析に関する詳細な資料最終 1 というのを、1-51 から 57 ページ。
1:26:04	各資料のEPMAマッピングや、測定箇所 1-58 から 68 ページに、
1:26:11	掲載しています。
1:26:14	うちの 69 ページは、
1:26:21	これまで、
1:26:22	説明した通り、破碎部については、EPMA分析で、
1:26:25	斜長石の曹長石化が進んでいる状況や、エックス線回折分析、分析で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:31	粘土鉱物が認められる状況が確認できましたが、これらの状況は、イノウエ 2003 という文献によれば、比較的コウの熱水活動に伴ってもたらされる、
1:26:42	そういう状況であるということをお話しました。
1:26:47	次に 1-70 ページをお願いします。
1:26:52	続いて、耐震検出採用の時期についてご説明します。
1:26:58	粘土鉱物のファイル④年代測定の結果を表で整理しております。
1:27:03	水変質作用によって生成されたコウ弱加工がフルヤ最大に見られる粘土細脈に含まれる。
1:27:10	ゴコウ物の下流 0 の年代測定値は、
1:27:13	約 51.0 から 58 点。
1:27:17	1Ma であり、熱水変質作用により、小浦花崗岩形成年代、
1:27:22	約 64.2 から 66.6Ma よりも若干若い年齢を示しています。
1:27:29	また、ドレライト中の粘土細工に含まれる粘土鉱物のカリウムアルゴン年代測定値は約 18.9Ma であり、
1:27:38	下水熱作業の取り合い形成年代である。
1:27:42	約 21 名よりも若干若い年代を示しております。
1:27:47	1-71 ページを、
1:27:51	破碎部及び検出部の渦流 0 の年代測定試料について、
1:27:56	製品作用によって生成されたと判断される粘土鉱物が含まれるということをお話し、エックス線回折分析によって確認しております。
1:28:08	1-27 から 75 ページには、カリウムアルゴン年代測定に関する試料採取位置の表社内
1:28:15	観察結果を示してございます。
1:28:19	1-76 ページをお願いします。
1:28:24	敷地周辺の知識について、横軸が時間軸になるように整理しております。
1:28:30	到着花崗岩、ドレライト及びこれらに見られる検出部に関する分析の結果は、若狭湾周辺に第 4 紀火山が存在しないなど、ドレライトの貫入時期、
1:28:41	121 年目以降の熱水活動が見られない、されている地震と矛盾していないということを確認しました。
1:28:50	1-77 ページ。
1:28:55	粘土鉱物についてのまとめとなりますが、総合的に検討した結果、①破碎部の粘土鉱物は熱水変質によって生成したと判断しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:05	また、②として、最新の熱水変質については、引地周辺の地史と矛盾しないということを確認しました。
1:29:13	以上で発災等、粘土鉱物についてのご説明は以上です。次に、最新活動面の認定についてご説明しますのでこのまま活動性資料の1-78で、次のページを、
1:29:30	最新活動ゾーン及び再編活動面の認定方法についてご説明します。
1:29:36	最新活動面の認定については、六甲やボーリングコアの肉眼観察、CT画像観察、薄片観察等に基づき、巨視的な観察から微視的観察にかけて順に行って認定を、
1:29:51	図の左側に認定の手順、右側に各観察における判断指標を記載しております。
1:29:58	まず6観察やボーリング坑観察といった巨視的な観察を行い、
1:30:03	他の構造に切られていないか、細粒化が進んだゾーン、モンマっていうか、直線性連続性が相対的に富んでいるかといった観点から断層面の選定を行います。
1:30:14	P画像データがえられた場合には、各断層面について3次元的な構造を確認します。
1:30:20	断層面が複数ある場合や薄片観察範囲外についてさらに観察が必要となる場合には、テーマ編観察を実施します。
1:30:29	最後に、薄片が作成できる場合には薄片観察を行い、他の構造に切られていないか、細粒化が伴ったゾーン滞留化が進んだゾーンとなっているか。
1:30:38	直線性連続性が相対的に感じるかといった観点から最新活動面の選定を、
1:30:44	なお、この細粒化が進んだゾーンを最新活動面として行っていく。
1:30:50	また、一番下の※2のところに記載していますが、最新活動面以外にも連続的なY面が認められるが、そちらのホワイエについても念のための観察を行う。
1:31:04	最新活動面については以上です。
1:31:07	もう一度連続性の資料戻っていただいて、2-46ページ。
1:31:22	今、粘土鉱物の、
1:31:25	関する検討及び最新活動ゾーンで最近過疎面の認定についてご説明しましたので、
1:31:31	次に、エミ協の緑で囲った部分。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:35	最新活動ゾーン及び最新活動面の認定及び、最後の活動を示す痕跡の確認について、具体例を用いてご説明します。
1:31:45	この後、2-47 から 53 ページは、最新活動面付近の粘土鉱物の経済対策。
1:31:52	416 ページには、防災の観測で分析結果を記載していますが、
1:31:57	今回は、先ほどの具体例として使って、58.9%、59、30 メートル、最後 02 と説明。
1:32:06	2-90 ページ。
1:32:17	だからもう、
1:32:19	となります。
1:32:20	ボーリングコア観察において、深度 59.16 メートルに断層面ある。
1:32:26	深度 59.18 メートルに断層面のデータが、
1:32:31	断層面、 $\alpha$ は細粒分オオクマ、
1:32:34	弯曲及び凹凸がやや認められ、連続性にはややこしいですが、他の構造に切られておらず、連続面も認められないため、連続性に留めます。
1:32:44	断層面データは細粒部を伴い、弯曲及び凹凸が認められるため、直線性に乏しく、
1:32:50	他の構造に切られておらず、不連続面も認められないため、連続性にはとります。
1:32:56	次に 2-93 ページをお願いします。
1:33:00	他の破碎部については浜堤画像観察を行っております。
1:33:05	比嘉層観察においても、ボーリングコアでは、ボーリングコア観察で認められた断層面と断層面データが認められます。
1:33:14	こちらについても基準に基づいて観察を行っております。
1:33:19	2-94 ページ。
1:33:25	こちらの細部については、県は変換しております。
1:33:30	右側、コアの新倉の端子CT画像、
1:33:34	同様に断層面、 $\alpha$ と $\beta$ が認められます。
1:33:39	断層に $\alpha$ は、
1:33:41	直線性連続性日本ですけども、断層面のデータは直線線ややこしく不連続、連続性に富むという状況になっております。
1:33:50	箱書きの一番下のポツですが、ボーリングコア観察、CT画像観察現場変観察より、SI営業部を伴い、最も直線的な、深度 59.16 メートルの
1:34:02	断層、
1:34:04	記載している断層面を検討対象断層面としました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:10	95 ページに、
1:34:15	次に薄片観察結果ですが、薄片観察結果のうち、文体に関する観察結果と、95 ページにお示しています。
1:34:24	前のページ検討対象とした断層面の付近で薄片を作成した結果、ここでは①のゾーンと②のゾーンの二つのゾーンが確認できます。
1:34:35	①のゾーンは粘土鉱物の量が少なく、粘土鉱物の定向配列が認められません。
1:34:42	また上がん. オクカサオカっていう観点が多くなって、
1:34:45	②のゾーンは粘土鉱物の量は多いが、
1:34:49	粘土鉱物の傾向配列は認められ、顔面は少なく丸みを帯びている観点が行っております。
1:34:56	①と比較して②の方が不都合が多く、基質中の粘土鉱物の量も多いことから、細粒化が最も進んだ②のゾーンを、最新活動面として認定します。最新活動ゾーンとして認定しました。
1:35:09	2-96 ページを、
1:35:14	8 年間、
1:35:15	最新活動面に関する観察結果となる。
1:35:19	前のページでご説明した最新活動ゾーンをした範囲について、詳細に観察した結果、ここでは、Y面、A、B、CのY面三つが認められますが、
1:35:30	そのうち最も直線性連続性に富む、Y面Aというのを最新活動面の候補としています。図中で付加の線で示している部分が悪い。
1:35:42	2-97 ページお願いします。
1:35:46	薄片観察結果抜き講義を前のページで、最新活動面の候補とした断層面、ALPHAに対応するY面Aの関係に関する観察当初引きます。
1:35:59	詳細に観察した結果、右の写真の重い色の下線部囲った範囲において、
1:36:04	周囲と配列の異なる粘土脈がY面、を横断している様子が確認されました。
1:36:11	これは周囲の、
1:36:13	粘土鉱物と配列が異なっていることから、火災によるものではなく、熱水によるものであると考えられます。
1:36:20	よってこの破砕部は最新活動後にね制限被災を受け、それ以降は差異が活動していないと判断されます。
1:36:28	2-98 ページをお願いします。
1:36:32	この破砕部では薄片を 2 枚作成しましたので、そちらと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:39	分担に関する観察についてお示しますが、先ほどの確認。
1:36:44	後に対応するアカシゾーンを最新活動ゾーンとして2ページ。
1:36:50	2-99ページ。
1:36:55	先ほどまでご説明していた断層の $\alpha$ に対応する。
1:36:59	Y面、Y2、対応するんですけども、そのほかに、直線性連続性に富む、
1:37:05	断層面データに対応するY面Aというのも確認されました。
1:37:10	そのため、断層面ALPHAに対応する場合に、Bを最新活動面とし、
1:37:15	断層面データに対応する場合のAを、最新活動面の候補として、坑口面との関係を観察してます。
1:37:26	2-100ページをね。
1:37:33	最新活動面の候補です。
1:37:35	について、詳細に観察した結果、
1:37:38	一番右の写真で、この色の破線部囲った部分について、連続物が分布し、最新活動面の候補の面を不明瞭かつ連続にし、
1:37:48	横断している様子が確認されました。
1:37:52	不連続箇所では、せん断面、せん断構造や引きずり等の変形構造は認められず、
1:37:59	また、横断しているについても、弓状構造や粒子の配列など、注入の痕跡は認められません。
1:38:06	このことから、活動後に面に沿って熱水が浸透し、面を不明瞭かつ不連続西相談しているものと考えられます。
1:38:16	よってこの面についても、活動後に熱水変質作用を受け、それ以降は再度活動していないというふうに判断をしております。
1:38:24	2-101ページを、
1:38:28	本破砕部については、PAMについてを実施しております。
1:38:32	左上の薄片中の一部及び発見写真。
1:38:35	直交2コウ、加古直行リコールと記載している写真の範囲が、概ね分析を実施した範囲となっておりますが、
1:38:43	分析は結構、
1:38:45	はっきりして、
1:38:46	市が発電には来ておりません。
1:38:50	EPMAマッピングの結果より、最新活動ゾーンは、周囲よりSIポツ、
1:38:56	流通汚水日を血を
1:39:00	が少ないゾーンとして認定され、認識されます。
1:39:04	駅枠を拡大した結果を次のページで示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:13	今、100 ページでお示した粘土鉱物、
1:39:19	している場所について、角田比嘉をしております。
1:39:23	川田のこの辺を挟んで、明瞭な減損の精査というのは見られませんが、
1:39:29	桃色は浅部で示しています。コウは明瞭にしている人については、CLO 及び、
1:39:36	並列をⅢが少ないゾーンが認められます。
1:39:41	以上のことから、粘土鉱物が最新活動面の候補を出しているものと、
1:39:46	考えております。
1:39:49	2-103 ページお願いします。
1:39:54	本浅井においては、XRD分析も2ヶ所実施しております。
1:39:59	1ヶ所目の資料は、断層ガウジから情報2センチの位置にあるカタクレーサイト。
1:40:05	中の逆が見える場所から採取しております。
1:40:09	この資料でも、ちゃんと分析結果のちゃんと左に、申請中後半
1:40:16	結果を右に、
1:40:18	認められた鉱物を整理した表を下に示しております。
1:40:22	この資料では、新鮮ナカ広範に比べ、社長関谷会長席の割合が小さくなっている一方、スメクタイトと変わらない人が認められます。
1:40:32	イノウエ 2003 によれば敷地における粘土鉱物の成因と同様に、本資料周辺は、熱水変質を受けていると推定されます。
1:40:42	2-104 ページ。
1:40:47	エクサルD分析の2ヶ所目。
1:40:49	あります。
1:40:50	こちらの資料は断層会費から採取しております。
1:40:54	この資料のちゃんと議題。
1:40:57	記載していますが、この資料においても、新鮮な花崗岩と比べて、社長関谷会長席の割合が小さくなっている一方、
1:41:05	スメクタイトわずかにカオリナイトが認められます。
1:41:10	読んで、先ほどと同様に、イノウエ 2003 によれば、敷地における粘土鉱物の繊維と同様に、本資料の周辺は熱水変質作用を受けていると推定されます。
1:41:21	2-105 ページ。
1:41:25	右側に2ヶ所の試料の採取位置を示しており、左側に各試料のチャートを示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:32	チャートを比較した結果、含まれる鉱物の話ですが、断層ガウジで採取した試料は約で採取した試料に比べて、セキ会長席の相対比が大きい方。
1:41:43	スメクタイト川井との相対比が少ないことがございます。
1:41:48	つまり、逆の学部の方は、象嵌鉱物の含有率が低く、スメクタイトの含有率が高いことから、断層が非よりも熱水変質の影響を強く受けていると考えられ、
1:42:01	熱水変質は断層ガウジの外からおよんだ可能性があると考えられます。
1:42:07	最新活動ゾーン及び最新活動面の認定と、破砕部の活動レスポンスに関する具体例の説明は以上となります。
1:42:17	2-117 ページ。
1:42:24	鉱物脈法に基づく検討のまとめとなります。
1:42:28	最後の粘土鉱物に関する検討結果としては、01 歳部の粘土鉱物は熱水変質によって生成した。
1:42:35	②、少なくとも後期更新世以降の熱水活動はないことを考えました。
1:42:41	また、対象とした破砕部のうち、一部の破砕部についてはXRD分析を行い、
1:42:46	最後の鉱物脈には熱水変質作用、生成されたと判断したスメクタイト及び雲粘土鉱物、並びにカオリナイトの生成が認められているということを確認しています。
1:42:58	破砕部の活動を示す痕跡の確認としては、
1:43:03	対象の破砕部について、最新活動ゾーン及び最新活動面、定収粘土鉱物が最新かつため横断していること、もしくは粘土鉱物が最新活動面を不明瞭。
1:43:15	かつ不連続にしていることのいずれかの特徴を持つこと、薄片観察で確認しました。
1:43:22	また、一部の細部については、EPMA分析を行い、最新活動面を横断してくるとする鉱物脈や、
1:43:28	網目状の粘土鉱物が最新活動ゾーンから、最新活動面を超えた範囲まで、
1:43:34	反対されず、取り入れることなく分布していることを確認しております。
1:43:38	以上のことから、対象としたすべての火災について、最新活動後に熱水変質作用を受け、それ以降は最後活動していないと判断しました。
1:43:48	これらを踏まえ、左側の黄色パッチのかかった小さいものは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:53	鉱物脈法に基づく対象としたすべての細部について、スクラップの後期更新世以前に生じた最新の熱水活動。
1:44:02	活動していないと判断しました。
1:44:04	さらに、K断層の最新活動時期の評価も踏まえると、一番下の発注の対角の通り、
1:44:11	対象の破碎部は、最新の熱水活動危機以降に活動しておらず、K断層が丸井層以上の基礎に変位変形を変え、ベッショ6以前の地層である③ソウノ教員に、上部に、
1:44:24	変位を与えていない状況とは大きく異なっていると、いうことを確認しました。
1:44:30	2-119 ページ。
1:44:44	評価のコメントなんです
1:44:46	断層の分布及び性状については、
1:44:50	活動性の本。
1:44:51	資料でご説明したことを、一番上のほうにまとめてございます。
1:44:56	K断層の南方への連続性評価は、まず 2.1、2 ポツ 1 の敷地の破碎性の連続性評価基準に基づく連続性評価において、
1:45:06	K断層の確認地点の最南端に当たる。
1:45:10	ふげん道路ピットに隣接するA124D1 の 1 項の最後のうち、
1:45:15	引地の浅井田井の連続性評価基準に基づく検討範囲内に位置する破碎部は、
1:45:20	断層の性状とは、
1:45:22	類似していないということから、K断層と連続しないものと判断しました。
1:45:28	これに加えて、2 ポツ 2、K断層の念のための確認、連続性確認として、
1:45:35	2 ポツ 2 ポツ 1 の敷地の最低連続性評価基準に基づく検討範囲がない破碎部との連続性確認。
1:45:42	において、
1:45:44	A20、
1:45:45	4-01 の 1 項で確認されたすべてのサインは、K断層の性状とは類似していないことから、K断層と連続しないということを確認しました。
1:45:55	さらに、124 で 1-1 コウ、カラス重要施設までの間で実施したボーリング孔、13 コウすべての破碎部についても、あわせて連続性確認を実施し、
1:46:06	K断層の性状と類似する破碎がなかったことから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:09	A断層は、これらの南方にあるボーリング調査の範囲は連続しないということを確認しました。
1:46:16	また、2 ポツ 2 ポツ 2 鉱物脈法に基づく連続性の検討においては、平均 24 で 1-1 孔の破碎部のうち、敷地の破碎点の連続性評価基準に基づく検討範囲内に位置するすべての細部について、
1:46:31	鉱物脈法に基づく、少なくとも後期更新世以前認証機関最新の熱水活動以降は活動していないということを確認し、
1:46:39	K断層が丸井層以上の地層に変位変形を与え、MIS6 以前基礎である③層胸部の地層に変位変形を与えていない状況とは大きく異なっているということを確認しました。
1:46:52	これらのことから、2-121 ページの一番下の方たちも増えてきました。
1:46:58	K断層は原子炉建屋、
1:47:00	出せる破碎、連続していない。
1:47:03	判断。
1:47:06	ご説明は以上。
1:47:08	はい。
1:47:10	それやろうと。
1:47:15	それでは、
1:47:28	編資料の、
1:47:30	けれども、
1:47:32	2-8 にフローチャートが、
1:47:36	あって、
1:47:38	その前にコウ、
1:47:40	評価基準、
1:47:42	どういったものを抽出するかっていうのは、
1:47:46	何かこう、
1:47:48	クローン最初の走向傾斜。
1:47:51	そんな話がコウ。
1:47:53	1 ページ、2 ページを使って、
1:47:55	説明されてるんですけど、
1:48:00	後ろのフローの方、
1:48:03	断層ガウジ、この辺は、
1:48:07	あまり説明もなくて、
1:48:09	フローが出てきて、
1:48:11	というふうになってるんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:14	その辺で構成としてはどのように考えて、
1:48:27	今、
1:48:29	セキのフローの後半の部分につきましては、一応、
1:48:36	火災の性状についてはですね 2-4 ページの
1:48:41	赤丸であったり、アマヤ 20 これは破砕部の性状、
1:48:46	示しています。こちらをここに
1:48:50	FARO
1:48:52	に反映している。
1:48:53	これは木場木野。
1:48:55	方にもですねポツのところ、
1:48:59	ここで
1:49:01	御説明を、
1:49:06	一方で層厚の話ですとか傾斜の話については、この分布図上ですとち よっとどうしても示しきれないので、
1:49:16	具体的な、
1:49:21	別のページでは、
1:49:25	規制庁イワサキわかりました。ちなみにこの
1:49:29	2-4 ページにある、この赤丸とか、
1:49:34	青丸、
1:49:36	この辺、
1:49:38	データを、
1:49:40	というか
1:49:41	類似性を確認、これとこれがこう類似してますよっていうのを確認したデ ータっていうのは、この資料の中のどっかに入ってるんですか。
1:49:59	面ではヤマダ等、
1:50:04	これは、
1:50:06	今、検討資料なかー。
1:50:09	うん。例えば補足説明資料の 2 みたいな形では、ちょっと今、
1:50:13	はい。
1:50:15	入ってるの、かぶってるものは入ってるんですけど、
1:50:19	この範囲、K断層の連続性と、
1:50:22	する範囲内のものについては今ちょっと、
1:50:26	詳細の観察結果というのは、資料記載されてない。
1:50:31	規制庁岩崎です。わかりました。はい。
1:50:39	藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:56	でしょうか。
1:50:59	ないじゃない。
1:51:02	ある。
1:51:09	ちょっと、
1:51:12	ちょっと今の話の前にですね資料構成で、
1:51:18	今回これ、最初にもらった部分を流用してっていう形になると思うんですけど、
1:51:26	防止方針だとかあとは、いろんな資料を飛んで見ていたようになっただけになってるんですけど。
1:51:34	これはいずれ
1:51:36	連続性評価っていう形の資料で、
1:51:40	何かそういったものも、
1:51:42	コストひとまとめになるか。
1:51:44	なるならない。
1:51:46	わかりづらいかなど思ったんですけどそれはいずれする予定なんでしょう。
1:51:56	この前はそうですね。
1:52:00	はい。
1:52:01	はい。
1:52:02	この資料だけで一式で通して説明するためにちょっと、
1:52:07	存在、こっち側に入れて、
1:52:12	補足の2とか3%ですけど活動性の方に、
1:52:17	出るやつはあるんですけど、連続性の中に、
1:52:23	よろしいですか。そう。そうですね例えば最初の一番冒頭に、
1:52:29	説明あった何か評価方針が薄いのかとか、はい。あと、
1:52:36	そもそも、断層っていうのが、こういう正常ですみたいな。
1:52:43	藤。
1:52:44	資料は、例えば、
1:52:47	活動性の方に入っているのを使って、活動性の方の結構最初の辺ですよ。小破碎部とか、
1:52:55	敷地の中の地質のお話とかそういったのを、
1:53:01	は、やっぱり一緒になってそれとセットで見、見ていく形の方がいいと思うんで、これはゆくゆくなんですけども、
1:53:11	ちょっとそういうふうには仕立て直していただく。
1:53:14	吉井。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:19	それでその前提でちょっと今イワサキから確認があったところと、かぶるところ。
1:53:28	の確認で私、今まで出たようなところ、
1:53:32	に関してなんですけど、
1:53:36	等、
1:53:38	2-4 ページ、14 ページのこの
1:53:41	今の、
1:53:43	5 ポツ目、
1:53:45	3 シンボポツ目は今ここの資料にはちょっとデータはないということなんですけど、これは
1:53:53	今までの何ですかね。
1:53:57	審査資料っていうか、
1:53:58	補正前とかに出たような、
1:54:01	ものに見ればどっかわかるっていうのはあるんですか。
1:54:05	例えば性状一覧表がアノン。
1:54:08	昔は何て言うんですかね。
1:54:12	出てたと思うんですけど、
1:54:15	今回の 14 校、
1:54:18	とか、K断層じゃなくて他の子満遍なく性状一覧表っていうのが出てたと思うんですけど、そういったのを見れば、ここのデータは読み取れるという。
1:54:28	そういうことなんですか、それともそれ以外のまたデータっていうものから、
1:54:33	来てる。
1:55:21	現在のヤマダはい。
1:55:24	それ。
1:55:26	尋ねてるだろうというのもあるんですけど、ちょっと今現時点はわからない。
1:55:32	はい。
1:55:33	ちょっと確認。
1:55:36	わかりましたじゃちょっとそこはまた今後、去年のときちょっと、
1:55:43	吉江カミヤですけど、ちょっと確認します。新旧基準の申請より、
1:55:49	以前、
1:55:50	はい。つまり、当初の許可のときの審査、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:57	ハバサキー1 からですね、ちょっとそういうところまで含めて、どこにデータが、
1:56:03	あるのかどうなのか。
1:56:07	わかりました。そうですね、岩盤、
1:56:10	あらわにしたときの、
1:56:12	何かそっから持ってきたのか。
1:56:15	わかりました。それは今、ちょっとその点、確認させていただいたんで、
1:56:21	また、いずれ
1:56:23	教えていただければ、
1:56:27	あと、
1:56:28	この
1:56:30	前半の2 ページ、2 の、
1:56:33	何ページとかの絡みで、えっと、
1:56:39	2-6 ページは
1:56:43	今の、
1:56:44	層厚は基礎掘削面のスケッチから附属して、
1:56:49	整理されたということで附属っていう、
1:56:53	その
1:56:55	やり方がいいかどうかは別としてちょっと、
1:56:58	そういったことでされてるってのわかったんですけど。
1:57:02	2-7 ページの傾斜っていうのはまた、さっきの岩盤スケッチから、
1:57:08	どういうふうに図どくできたのかちょっと、
1:57:12	されたのかっていうのは、
1:57:14	教えていただきたいんです。
1:57:17	経営者も、附属
1:57:20	だ。
1:57:21	書いてあるんですけど、
1:57:26	アノ傾斜につきましては、
1:57:28	2-5 ページにお示し、
1:57:33	学校、
1:57:37	お礼
1:57:41	旭さん。
1:57:42	タテコウコウノ面で担当した者の地域。
1:57:45	オギとヤマシタアノ。
1:57:48	2-4 ページで示してる平面図とかで、研修は読めないんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:53	2-5 ページのもので、
1:57:58	2-4 ページのこの図で、
1:58:02	例えば何メートル盤と何メートル場の落差があって、
1:58:06	そこから、
1:58:09	この線だったら、このぐらいの傾斜になると、そういう読み方をされてるっていう、現在のヤマダですけども、はい。
1:58:18	この 2-4 ページの the アノ使っていないくて、ここ 2-5 ページの図
1:58:26	の 5 ページ。
1:58:39	アノ 2 の 5 ページは、議事録は最下位。
1:58:43	のデータで、
1:58:53	その 2 他の 2-D6 の臍帯だけの話。
1:58:58	で今構成されてる。
1:59:00	でした。
1:59:04	衛藤。
1:59:05	6-8 歳海田と。
1:59:08	スケッチの真ん中の、
1:59:11	69 書いてありました。1 点目なんですけど後は災対ってのも、
1:59:16	そちらの二つの破砕対応。
1:59:25	それから 2-7 ページに書いてある、南方斜面に連続する破砕機会についてっていうのが、そういうことで、
1:59:36	すいません、もうちょっと、
1:59:40	そういうことで、だからあくまでコウ。
1:59:44	D5 と D6 についてやったということで、
1:59:47	ちょっとそこが何か 2-7 ページを見ても、
1:59:50	わかりづらいので、
1:59:57	わかる、わかりましたけど一応 D5D6 のこのスケッチから持ってきてるってことで、
2:00:04	わかりました。
2:00:07	見せちゃう。すいません。ちなみに、今の点って、
2:00:12	今後、
2:00:13	経営者の抽出基準については、D6、
2:00:17	でしかやって、
2:00:22	不可能ものは特に見てない。
2:00:24	県野瀬でございます。これ、やるために幅広く面で見れないと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:32	どういうふうに破砕体が連続しているかってのがわからないので、平面で言うところの底盤の、
2:00:40	2-4 ページにある、
2:00:43	底盤で層厚の方を確認しまして、
2:00:49	斜面というか経営者の方は、
2:00:52	作業員の 5 ページで斜面、津波斜面の面としてこう見えるところで、
2:01:00	もう面で面談で繋がってることがわかってますんでそれで点を取って、
2:01:06	どういうふうに、
2:01:07	どのぐらいの揺れ幅があるかとかその範囲でこう繋がってるかっていうのを書く。
2:01:13	をしてございますんで、ちょっとそういう広く、広い面にとらえられてるのはちょっとこしかなくてそれで確認を、
2:01:20	しておく。
2:01:22	はい。議長。
2:01:24	吉イワサキですか。すいません。
2:01:31	はい、海田です。
2:01:41	フローのところに行っちゃった。
2:01:45	あとすいません、2-8 ページのフローで、こういった順番でされてるっていうところは、
2:01:51	クドウで、
2:01:52	糸賀です。
2:01:54	後で確認かもしれないですけど、ひし形の数、四つめのひし形っていうのは、
2:02:01	これは、
2:02:03	あんまりこう、
2:02:05	最終活動以前に形成された破砕部の性状の類似性で、
2:02:09	こう判断しているっていうのが、
2:02:14	今回、この資料の中で、そういったところまで、
2:02:18	言ってるのっていうのはあるんですか。
2:02:22	最新活動面に着目してこうでしたっていうのは、
2:02:26	あったような気もするんですけど、それ以前の部分での、
2:02:30	類似性を評価して、
2:02:32	有無を判断したっていうのは、
2:02:38	それは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:40	具体的にこれ、すみません、あんまりイメージがわかんないけど、どの辺、どういうことをされてるのかっていうのは、
2:02:47	教えていただきたいんですが。
2:03:02	県の生田目。
2:03:04	まず、夢イメージ。
2:03:07	言うと、
2:03:10	何かすごく簡単に、
2:03:13	例えば四つめの
2:03:16	点の破碎部の間に他の破碎が横断していないっていうのが、
2:03:19	僕イメージです。
2:03:21	開けるかな。
2:03:23	他のは最低が、
2:03:26	それを、
2:03:28	浅いところちょっとこっちにある。
2:03:30	津波だったらこの破碎っていう、
2:03:33	行っちゃうっていうそういう、
2:03:35	本当は、
2:03:36	考えられないというような、そういうイメージで記載があって、
2:03:40	1 ポツとか 2 ポツ、それから 3 ポツ、
2:03:44	あたりは、
2:03:45	普通で言ったら、
2:03:48	こんなアオキ破碎というか、急に
2:03:50	こんな、
2:03:51	そうか。
2:03:53	一面、
2:03:54	なんかすごくウォッチ面取りのある火災耐久の数センチとか数ミリ。
2:03:59	なるっていうのをちょっとイメージできないということで、
2:04:03	こちら、
2:04:04	最近、ただちょっと没水というご質問としてですね
2:04:09	こういう、
2:04:14	イシイ型の、
2:04:17	具体的になぜこうしたかっていうところをちょっと議論は、
2:04:21	今、
2:04:23	実際でき、
2:04:24	ませんのでこれはちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:29	なるほど。
2:04:38	そうですねなんかそういう例みたいなのが、今回の資料にあるのか、
2:04:44	また、今までの他の資料である、
2:04:50	ダントー、
2:04:52	の連続性評価。
2:04:56	じゃない、ない。
2:04:58	K断層ではなくて、
2:05:00	他のその他破碎、
2:05:03	体の連続性のところで、だったら出てくる。
2:05:07	具体例のところで、
2:05:13	2-9 ページ、具体例のところの、
2:05:17	から、
2:05:19	3 列目の、
2:05:21	ピンクで、
2:05:23	耐震活動以前に形成された破碎部の性状等の類似性を記載しているものがありますけども、
2:05:29	例えば今これですと、
2:05:32	※1 って記載。
2:05:34	されてる部分については、これ、
2:05:36	県の浅井部の、
2:05:38	破碎幅のオーダーが、
2:05:42	帳合以上行っているのでここで落としているということですので、実際使っている例としてはこういうのがあり、
2:05:53	県連のカミヤですか。ちょっと
2:05:59	判断基準ってのはできるだけ客観的というか判断基準になるような要素ってのは
2:06:06	多い方がいいだろう。
2:06:08	ことがあって、このフロー図は作ってます。
2:06:11	今山田が説明した例のところはですね、これですから、平成
2:06:15	30 年ぐらいの審査会、まさに警察の継続じゃなくて敷地内の破碎ゴトウ連続してますかっていう分布の説明をしているとき、
2:06:24	から基本的には同じような考え方でやっていて、
2:06:28	計算ソウノ行くかどうかってところではそこまでの要素でコウマルバツみたいなの、反対っていうものはないんですけども、
2:06:38	今後の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:39	何ていうんですかね。
2:06:42	ミヤザキ三条から四条は最低の分布、
2:06:46	というものを整理している中ではそういうものが表 2 の 9 ページの例示のようなものところではコウ。
2:06:59	あ、はい、甲斐です。わかりました。だからまさにこのD5 はそういうふうな
2:07:04	評価になってるということでこれがそっちで、
2:07:07	でけだから確認したかったのは、K断層を今回後、資料の中では、この四つ目まで行ったのは、ない、ないということ。
2:07:17	そうですね。
2:07:19	わかりました。
2:07:30	あとちょうどついでに、2-9 ページが出てきたんですけど、
2:07:36	ちょっとこの、
2:07:37	左下のこの何ですか。
2:07:40	灰色とか青とかっていうところは、
2:07:45	ここは
2:07:48	ご説明があったんですけど、
2:07:51	これがうちがありなしで、カタクレーサイトっていうのがこの
2:07:57	下にあって、
2:08:00	カタクレーサイトっていうのはこの表でいうとどれ。
2:08:04	はい。現在、
2:08:06	筧サイトっていうのは、断層ガウジ炭疽学歴の有無なしに、
2:08:12	なんていうものがイコールカタクレーサイトからなる。
2:08:16	なしってところをカタクレーサイトって読みかえる。
2:08:21	こんどこの部分、読み、
2:08:23	カタクレーサイトからなる破砕部っていうのが、鍵加工であるのが、
2:08:29	この表で言うと、
2:08:32	どれになる。
2:08:36	例えばですけど、表の、
2:08:40	一番左に起点破砕部書いてある。
2:08:44	その右に、
2:08:45	なしって書いてあると思うんですけど。
2:08:47	はい。ここの部分は今カタクレーサイトと読みかえていただいて
2:08:53	はい。
2:08:54	ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:56	このカタクレーサイトだった場合、
2:08:59	候補とする破砕部が下に三つ。
2:09:02	あるんですけども、
2:09:04	それと連続すると判断するかっていうのをこの色で分けて示して、
2:09:08	例えば今、
2:09:10	起点破砕部が、断層ガウジなし、つまりカタクレーサイトだった場合には、
2:09:14	候補とする破砕部とか、
2:09:17	断層ガウジなし、カタクレーサイトのこういったイワマ1イセ、性状が一致してますので連続すると。
2:09:23	判断しますし、
2:09:25	候補とする破砕部が、断層がある。
2:09:28	明瞭なせん断構造変形構造がなしの場合も、
2:09:31	これ見、水色枠で囲っていますけど、これも連続するというふうに判断。
2:09:39	候補とする破砕部か、断層ガウジ簡単そう隔離ありで、
2:09:43	明瞭なせん断構造変形構造ありの場合だけ、
2:09:47	起点破砕部カタクレーサイトと、このパターンはだけを繋がないと。
2:09:55	ゆ呉。
2:09:57	なぜよ。
2:10:01	海田です。そうなりと、
2:10:05	カタクレーサイトと、
2:10:07	買う人はつながないけど、
2:10:11	うん。
2:10:13	明瞭なせん断構造変形構造の有無ってというのは、
2:10:20	あってもなくても、
2:10:24	つなぐというそんな、
2:10:27	そういうことですよ、表現のヤマダと。
2:10:31	各零細起点の破砕部のカタクレーサイトだった場合は、はい。
2:10:35	まず、
2:10:36	候補となる破砕部はカタクレーサイトバイトは繋ぎました。はい。で、
2:10:42	断層幹事だった場合はその次に、
2:10:45	明瞭なせん断構造変形構造の有無まで見まして、はい。
2:10:49	明瞭なセンナの変形構造がなしだった場合は、繋ぎます。はい、明瞭なせん断構造変形構造ありだった場合だけ繋ぎません。
2:10:58	はあ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:03	やっぱり起点の破砕部と、
2:11:06	対象とする候補な破砕とか逆のパターンも、おんなじ。
2:11:11	でして、
2:11:13	うん、転倒する破砕度が、断層が次ありで、明瞭なせん断構造もありだった場合は、
2:11:19	カタクレーサイトとは繋ぎませんけども、断層ガウジが有体明瞭な選択コードがある場合も同じの場合もつなぐと。
2:11:28	うん。
2:11:29	起点の破砕部は、明瞭な野瀬、断層ガウジで明瞭なせん断構造がなしだった場合は、もうすべてとつなぐ。
2:11:40	ということではなし。
2:11:43	要はカタクレーサイトともつなぐということです。
2:11:48	複雑ですね。
2:11:51	捲りましてちょっとそこはまた、
2:11:55	今、
2:11:55	確認し、
2:11:56	下の方でちょっともう一遍この辺、
2:12:00	確認させていただきます。
2:12:06	あと、
2:12:07	ちょっとこの2-9ページぐらいまでのところで他、どなたか確認ありますか。
2:12:14	連続性実際に入ってく前のところ、
2:12:18	規制庁濱田です。
2:12:23	9社の差について比較対照、
2:12:26	コウノっていうのは、これは絶対。
2:12:29	うんなるんでしょう。
2:12:34	±20、
2:12:38	大臣が、
2:12:40	それプラス、
2:12:43	マイナスがあるとかそういうこと。
2:12:52	なるほど。
2:12:53	と、例えば、2-8ページの、
2:13:01	-24

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:05	そういうような、普通、絶対値でいうと 40 だっていう感じになるんですけど、この表では 20 度で切られてるんですけど、±20 度っていった範囲が 40 度、
2:13:17	あるような
2:13:18	感じに普通考えられるんですけど、本当は、ある意味 0 から +20 とか、マイナス 20 度早く、
2:13:28	落とすっていうことだったら、ここのUMPのこの作業はマイナスを、
2:13:35	新しい入れた方がいいんじゃないのかと。
2:13:42	今日、
2:13:43	入れた方でもそう、このままだとこれ、あれですね、例えば、エンドウの 16 ドイが一番上だと、この 8Wだと。
2:13:56	東側をプラスに取るんだったら、西側に行ってるんで、マイナスの
2:14:02	24 ですよ。
2:14:05	そのどっちかをプラス何かいうところの、次、
2:14:11	メモ。
2:14:12	6トンのプラスマイナスに近いと。
2:14:16	売ってますよね。ヒガシがプラスになってるんですけども、
2:14:20	そういうパニックと。
2:14:22	これはマイナス 10 これは全部マイナスになっちゃうんですけど、マイナスになってプラスになって、
2:14:29	思うんですけど、もし、絶対に書かれてしまうと、プラスマイナス。
2:14:34	絶対。
2:14:35	40
2:14:37	プラスマイナス。
2:14:39	はい。植野。2-8 のオレンジのこの扇形の範囲、40、
2:14:46	だからソーレと間違われてるから一瞬我々ちょっと迷ったんですけど、とりあえず溝田くんじゃねえの。
2:14:54	けど、考えてきた士だから、
2:14:57	ついてたらプラス 20 ドイか。
2:15:00	マイナス 20 度以下で作業してますっていうふうにわかりやすくなる。
2:15:05	ここは、
2:15:14	御説明ありがとう
2:15:15	ちょっとわかりにくい点で、プラスマイナスなのかがちょっと絶対かという意見が、
2:15:22	あるということですので、今、表の中に、プラスとかマイナスとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:28	入れた方が、
2:15:30	わかりやすいんじゃないか。
2:15:32	ご意見いただきましたけども
2:15:34	そう。
2:15:35	示し方検討してもうちちょっとわかりやすい形になるようにしよう。
2:15:42	シマさせさせていたどうか。
2:15:48	実際ってことは、
2:15:50	そこからプラスだったらこっちマイナスだったらこっちで合計 40 度を見て いるということ。
2:16:04	よろしいですか。
2:16:05	2-6 ページ、出訴ぐらい。
2:16:10	マイナス 20 度の範囲内に収まってるといふふうにご説明があったん だけど、
2:16:17	オノ田上ですけど、
2:16:19	これ、ポイントAとポイントBっていうのは、御社の方で 2 で、宗倉庫を示 してる平面図とか、難燃性のところからあるポイントを取って、
2:16:31	そこから 5 メートル 10 メートル、20 メートルっていうデータをそれぞれ取 って行って、
2:16:37	集めた数が標本数っていうふうに表示されてるっていう。
2:16:42	そういう理解でいい。
2:16:45	要はこのポイントのの取り方によって、いろんなケースが考えられるよう に思うんですけど、それは御社の方で任意で、
2:16:55	このポイントをにして、そこから
2:17:00	5 メートル 10 メートル 20 メートルの地点というのがポイントBになるか ら、その地点の層厚を測ったら、こういうヒストグラムになったって いう、そういう、
2:17:10	そういう理解でよろしいですか。
2:17:16	端的に言えばポイントっていうのをどこに設定してるのかっていうのが、 見えないんです。
2:17:25	議員なんですけど
2:17:28	5 本の
2:17:30	どこをどういうふうな観点で取ったかってのは、少しちょっと今確認したと か、
2:17:35	それでは、
2:17:41	起点は取ってそこから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:44	20、
2:17:45	26とか55メートルとか10メートル持ってばアノサンプルの間隔のパターンで整理をしましたっていう、
2:17:55	そのえっと、
2:17:58	2-9ページの表の中で、ひもでるかかっていうのは最終的に判断するケースがあるじゃないですか。
2:18:06	非モデル化でこれは、その見えてるところから、確認する対象があるところが全部
2:18:17	確認ってのは出てくると思うんだけど、そこにどっちにも繋がらなかったっていうものを、モデル化にしてるっていう理解。
2:18:28	はい。
2:18:31	そうです。基本的には、ボーリング呉。
2:18:35	ボーリングの点をこう触ってこうやったときに、繋がらなくてその点がどこにも繋がらない。
2:18:44	てなったときに、非モデル化。
2:18:48	っていう話でも繋がるんだったら非モデル化にはならない、カタクレーサイトの事
2:18:59	繋いだ時にはそれー
2:19:02	広がりをお体ね、つけて、わかりました。
2:19:06	はい。
2:19:15	はい。
2:19:17	2-9ページの、
2:19:21	青色のやつは、青井住谷。
2:19:24	北井所。
2:19:26	説明は、
2:19:28	これ、
2:19:31	青で、
2:19:32	全部1点。
2:19:34	造船。
2:19:35	もし、
2:19:37	件数が、
2:19:41	5件。
2:19:42	もしくはセンスが類似する可能性がこの
2:19:47	てるんですけども、
2:19:49	類似する可能性が。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:08	記載が違うところ。
2:20:16	でございます。これ
2:20:19	藤峰さんおっしゃったのは 2-9 ページの表の下のところ、
2:20:25	緑があって、水色があってその下に、
2:20:29	水色の枠があって、その水色の枠に可能性があるって何ですかってことですね、これはボーリングのデータって展示なんですけど、
2:20:40	この走向傾斜を必ずしもとってるかとれたかっていうと、やはりわかんないものとかっていうのは、
2:20:47	あるわけなので、そういうときには、
2:20:50	もう可能性があるとして、枠をつけて、
2:20:53	嵯峨。
2:20:55	プラマイの 10 度差を計算できないんだけど、
2:20:59	可能性あるっていうふうに置いて次のステップ、次の性状で確認しましょうっていう意味で、可能性があるという言葉と、
2:21:07	そういうものは枠で囲んで、確認していきますという意味で、
2:21:11	そういう判例っていうか、
2:21:15	具体的に、例えば、
2:21:17	今回というと走向傾斜が取れない。
2:21:23	あれば、このワーキング。
2:21:34	今回の最初の 14 の場合は、
2:21:57	今、
2:21:58	ヤマダですけど、補足しますけども、今野瀬が多い。
2:22:03	今回、走向傾斜のパターンってのは多分ないんで、
2:22:07	2-9 ページで示してる枠ん中の頭。
2:22:11	これ、多分皆さん、条線方向がわかってないパターンですね、走向傾斜がわかってないパターンちゃん。
2:22:18	条線方向がわかってないパターンっていうのも、その可能性がある。
2:22:24	次の、
2:22:25	転籍とかをすることにつきまして、
2:22:30	2-28 ページにあります。今山田さんご説明いただいたやつは、25、見込みはそうですよね。ここですね。はい。調整が取れてないものについてはもう、
2:22:41	可能性があるって、繋がる可能性があるという、
2:22:47	次に、
2:22:51	けども、条件。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:53	こっちか。
2:23:00	コガとつなぐ。
2:23:14	あ、いいですか。
2:23:18	いや、いや来てもいいですか。
2:23:23	規制庁花田です。
2:23:25	めんどくせない。
2:23:28	13 ページ。
2:23:38	M5W、
2:23:41	県として、やられると思う。
2:23:44	お礼で、
2:23:48	10 月の時計断層の活動性の補足説明資料 2 の性状一覧。
2:23:55	見ますと、
2:23:57	18 ページ。
2:24:06	使うと。
2:24:08	川口、
2:24:10	うん。
2:24:11	藤防災監。
2:24:14	請願。
2:24:17	号線、
2:24:25	結局、
2:25:03	規制庁海田ですけど、今の話はだから、
2:25:06	2-13 ページの、
2:25:09	真木店のふげん道路ピットっていうのは、14.8 メートル盤で、
2:25:15	走向傾斜ともかくガウジの有無のところでありって書いてあるんですけど、このふげん道路ピット 14.8 メートル盤のところの、
2:25:26	性状一覧表見たら、
2:25:29	ガウジとかが、
2:25:31	ないというふうに、
2:25:33	なってる。
2:25:35	要は、同斜のゴトウですよね。同斜っていうか、
2:25:39	それでありってなってるのは、
2:25:41	ここで合っていないんじゃないかっていう確認なんですけど、そこはどうかの。
2:25:45	はい。
2:25:48	あの時はちょっと開けないということが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:52	ちょっと、
2:25:54	やっていることはですね、これ、
2:25:57	断層ガウジとかメール連絡貢献講座というのは、基盤が、
2:26:02	堆積物では、
2:26:04	観察できない基盤なんちゅうの。
2:26:07	正常ですので、ふげん道路ピットの、
2:26:11	どっか取ったボーリングの、
2:26:13	こっちやりと記載してしまってるんだと。
2:26:18	終わります。
2:26:20	継続評価をする上でちょっと必要な制度なので、
2:26:25	多分、
2:26:25	鶏卵と評価した他のデータを補完して使用している。
2:26:29	思いますがちょっと、それが今読み取れない。
2:26:34	英語になってしまっていますのでちょっと、
2:26:38	資料でわかるように、
2:26:40	こうしたい。
2:26:45	ボーリングのところで、
2:26:49	そうするとそこ方法アビルつっても変わってきます。
2:26:57	はい、わかりました。確認。
2:26:59	はい。ちょっと、
2:27:00	適切な数値を今年度強かつられるように、
2:27:11	規制庁の海田です。
2:27:13	今のお願したいのとあと、それと、
2:27:19	フローの
2:27:21	2-8 ページですかね 2-8 ページ。
2:27:24	に基づいて、これK断層も、この位に基づいてこう評価していきますとい うことで、2-10 ページになると、
2:27:35	もう
2:27:36	K断層、
2:27:39	こちらにコウ評価に入ってるんですけど、ここの間とかに、
2:27:43	竹井断層ちゅうのはこうこういう。
2:27:46	正常なんですだとか、
2:27:48	だからこここういうふうに見ていきますみたいなのが、
2:27:52	入っていないとちょっと。
2:27:55	なかなかわかりづらくてですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:02	そういう、少なくとも固形断層っていうのはこういう正常なんですよっていうのは、今のこの資料でいうと、
2:28:08	どっかあるんですか。
2:28:12	現在の、
2:28:13	少し
2:28:15	先ほどいただいた、
2:28:21	活動性の資料の方について、
2:28:25	調査が、
2:28:27	テラサワ、
2:28:28	製造に関するものは、すべて織り込んで、
2:28:34	案等、
2:28:37	そして
2:28:40	この資料で読み取れるのはこの1-4、活動性のまとめ。
2:28:44	ちょっと文字で4名。
2:28:47	な。
2:28:49	理由かなというふうに思いますので先ほどいただいたコメントも踏まえて、ちょっと、
2:28:53	資料構成についてはこれ、連続性の広いところで、
2:28:58	よろしくお願ひしたい。あ、規制庁海田イセわかりましたじゃそこは。
2:29:03	ぜひ
2:29:04	お願ひしたいと。すいません。はい。言い訳だけ言う必要ないんですけど。はい。補正書を出した後の面談の時にですね、資料我々、
2:29:15	活動性と連続性と、一体もんで作って行って、その中で、面談とかで、まず活動性からやりましょうということで、あえて、
2:29:27	分けたところがあるので今共通的なものが活動性の方に入ってしまったので、それは先ほどの瀬山が言った通り、3月については少し再考する。
2:29:38	普通の茂呂掛川層の分布の話っていうのは、
2:29:42	結局K断層の、
2:29:44	礫層がコメント回答とか、
2:29:48	する部分も3ヶ月ありますので、その辺も入れると整合した形。
2:29:52	これは債権を
2:29:55	はい。あります。規制庁海田イシタアノ。もちろんその分割されたっていうのはちょっとこちらから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:05	お願いで、していただいてそこでこういうふうになってるってのはもちろん理解してますんで今後ちょっとそういう説明、
2:30:13	受けた時にわかりやすいように、
2:30:15	構成していただきたいというところで、確認させていただきます。
2:30:21	先ほどちょっとおっしゃったんですけどだからK断層のD湾トレンチの中の、
2:30:27	分布的なものも多分、一部は入ってくるんだと思ってますのでそこは、
2:30:33	その辺をお願いします。
2:30:35	で、
2:30:36	その上でちょっと確認したかったのが、1-4 ページの辺りにK断層の性状はまとめてあるということで、
2:30:45	活動性の評価の資料の方も見ても、おそらくこれぐらいのことが書いてあって、
2:30:52	よく見ると、
2:30:54	K断層の性状は、破碎部が、
2:30:59	カタクレーサイトと、
2:31:01	断層ガウジからないっていう、要はカタクレーサイト岩相鍛冶両方ともあるということで、
2:31:08	それを
2:31:11	何ていうんすか、さっきのフローチャートに流していくと。
2:31:15	カタクレーサイトの外でも両方あるんで、
2:31:20	何て言いますか。
2:31:21	両方繋がるっていうことに、
2:31:24	なりそうな。
2:31:25	技術なんですけどこれはいいんだ。
2:31:32	両方ありますっていうだけのことしか、
2:31:39	そうですね。
2:31:41	はい。今の連続性の方で、
2:31:43	はい。参照っていうのは、断層ガウチの、
2:31:47	断層があるかと。
2:31:49	K断層断層角の有無ということでして、はい。武アサノ断層ガウチがあるということと、この1-4 ページに記載してますけど、
2:31:59	草間である。
2:32:01	いうふうに評価しています。で、
2:32:03	もう1個明瞭なせん断構造変形構造についても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:07	あるというふうに、
2:32:09	判断してまして。はい。そこで連続性評価をする際にですね先ほどの表の2-9ページの左下の表、
2:32:18	あった場合には、
2:32:20	起点破碎部は断層がある。
2:32:23	学歴の有無があり、
2:32:25	かつ明瞭なせん断構造変形構造の部分があることがありますので、カタクレーサイトとは連続しない。
2:32:32	いうふうに考えておりまして、
2:32:35	画像関係があつて、明瞭なセンナの構造があつて、ある場合とない場合、その二つの場合は、連続
2:32:42	評価する。
2:32:43	わかるように考えて、
2:32:45	わかりました。今だからそういうふうに評価は海田です。そういうふうに評価されてる。
2:32:51	いうことで、そうであれば1-4ページとかに明瞭なせん断構造があるみたいなことも入っていないと、そこに何か分岐点が、
2:33:00	それを何か分岐に使うことはできないと思うので、この1-4、
2:33:06	がもともとこの後ろの方に入っていた方がいいということも加えて、そもそもこの1-4に書いてあることで、K断層の性状がちゃんとう、
2:33:16	考えられていることが網羅できてるのかどうかというのも、
2:33:20	今一度確認してから、
2:33:22	この組み替えをしていただきたいので、そこはよろしくお願いします。
2:33:30	現在のカミヤですか。そこもうちょっと。
2:33:32	補足すると、前回先週の面談で野瀬の方から、
2:33:37	少しありましたけど、現地調査のコメントで、ボーリングコアみたいな形断層、コウ1メートルも、
2:33:43	全部がK断層なのかみたいな、コメントもありましたので、その辺も踏まえてですね、より適切な表現にすることも含めてですね。
2:33:53	ちょっと3月、
2:33:55	検討させて、
2:33:57	海田でした。わかりました。
2:34:00	多分だから1-4っていうのはその全体の見れば、両方あるけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:05	前は最新面の付近を見ればこうなんだみたいな説明もあったと思うんですけど、さっきの1-4ページも、最新面がとか、明瞭なせん断構造がっていうのが、
2:34:15	書いてないので、そうであれば、ちょっと後ろと、
2:34:19	繋がらないなというところで、確認させていただきました。はい。
2:34:23	よろしくお願いします。
2:34:30	このK断層、
2:34:31	まとめということで、
2:34:33	今度、
2:34:34	府系断層、
2:34:38	経産省以外、
2:34:40	関係の正常。
2:34:43	特徴。
2:34:44	どっかで、
2:34:47	N以外というと、
2:34:52	例えば、
2:34:54	徹底をされたりとか、そういう、その性状が、
2:35:01	書いてない。
2:35:02	同じようなものだったんでしょうかね。
2:35:08	違うんでしょうか。
2:35:10	なんかよく書いて、違いが、ルートが違う。
2:35:19	多様な分、
2:35:21	違う。
2:35:25	K断層のことばかり。
2:35:30	高宮ですけども、今のご指摘は受けとめさせていただきますけども、
2:35:38	そうですねまずはそのK断層の活動性と連続性のところから、審査を進めていただくということに、
2:35:46	なっていますので、K断層以外の破砕体の性状がこれ、数が多いので、なかなかその、
2:35:54	まずそれ書いてしまうと、K断層、その他の破砕体の活動性の話も、
2:36:00	議論するっていうようなことを、
2:36:03	コウにもなり、なるのかなと思ってしまったのであくまでK断層が連続するのかもしれないのかっていうことで、この資料では14本の破砕部の、
2:36:14	正常との関連っていうのをコウ、
2:36:17	取りまとめるっていう、そういう趣旨になっていますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:22	今、200 出資をですね、
2:36:26	簡潔に記載することができれば、
2:36:28	ちょっと検討はした方がいいかもしれませんが、
2:36:33	ちょっと今の審査の進め方、
2:36:36	からすみとちょっとそういう
2:36:38	を持っていなかったところがありますので、
2:36:42	K断層の性状活動性も絡んで、
2:36:46	連続性でも、
2:36:47	使ってますよね。重要。
2:36:49	断層の性状自体はきちり
2:36:53	書き込んで、
2:36:55	資料、
2:36:57	まとめて3月に向けてまとめていかれると。
2:37:01	少し検討していただいた。
2:37:07	現在カミデですけど、ちょっと
2:37:09	機械の検討扱い。
2:37:14	神谷さん、規制庁野田ですけど、御説明ありがとうございますありがとうございました。
2:37:20	そうですねこのK断層今神谷さんがやる通り、この形が、
2:37:25	このK断層に係る審査の進め方であったり、この
2:37:30	今の資料の位置付けですよね。それを踏まえた、
2:37:33	お礼を、
2:37:36	も踏まえ、
2:37:38	て、
2:37:39	そういった情報が必要かどうか、ご検討いただければと。
2:37:44	思います。逆にその入ることのメリットもあれば入れたことのデメリットってというのが多分出てくるんじゃないかと思いますので、そういうところも、
2:37:54	含めて、
2:37:57	必要あればご検討いただければ、この本社が必要だと、そういった説明がこの中必要だと、いうことであれば、入れていただければいいですし、いやそれはもう、
2:38:08	この受け繰り返しなんですけど、審査の進め方、この資料の位置付けを踏まえれば、別にそれがなくても御社として、このK断層の連続性を進めていくっていうことであればそれは、
2:38:20	なくてもいいんじゃないか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:22	ご回答ありがとうございました。
2:38:30	あと、スケールでは、
2:38:33	ちょっともう時間もあれなので2-3-3ページ。
2:38:38	実際の評価に入った2-10、10ページ以降で、今後また、
2:38:45	資料出していただくんですけど、
2:38:48	窓、それに向かってちょっと今の時点で確認しておかないといけないとか、
2:38:55	あとそれに向けてちょっとここは、
2:38:58	こういうふうなことを、
2:39:00	どうしてもか聞こえ加えという欲しいというのがあれば、
2:39:05	そのぐらいのことはちょっと。
2:39:07	確認したいと思うんですけども。
2:39:12	まず私の方から言っていいですか。
2:39:15	結構何ページでしたっけ、2-2、20ページぐらいから、実際の検討をさしていただいた中で、違う。
2:39:24	2-12ページぐらいから断面図が何本か。
2:39:29	その都度出てきてると思いますけど、ボーリング孔でこう書いてあって、
2:39:35	これでちょっと柱状図とかコア写真とか見ると、
2:39:39	やっぱり
2:39:41	一部ノンコアとか、なんつうか、もうスライムだったりとかするのがあったりして、
2:39:48	ちょっとそれとの対応がこの図でどこなのかっていうのが、
2:39:54	杉です。
2:39:55	細かく移していけばいいんですけどわかりづらいので、そういった情報を例えば横にこう、
2:40:02	何かわかるようにコールラインとかを付記するっていうのは、
2:40:07	いただきたいんですけど、そこは
2:40:09	可能でしょうか。
2:40:17	違う色の線をこの横にコウ。
2:40:20	平行にというか、横に書く分ぐらいの
2:40:26	なんですけど、
2:40:28	最後はね。
2:40:32	スライムとかノンコアって書いてある空間を今後、ここにこうなんか赤色を変えた線で黒の線に横にこうちょっとつけていくっていう形なんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:49	はい。わかる。
2:40:51	はい。ちょっとそこは、
2:40:54	わかるよ。
2:40:55	そんなになかったような気はするんですけど、一部あったのでそれが
2:41:01	ちょうど大事なところなのかどうかっていうのが、柱状図見るだけだと なかなかわからないので、その
2:41:08	そこを
2:41:09	お願いしたいと。
2:41:15	あともう1点、
2:41:20	ちょっとその破砕部の番号を確認してって私、うん。
2:41:25	2-28 ページを、
2:41:30	ちょっと細かい話になるんですけど、
2:41:35	49.24 メートルの④という83%です。番号。
2:41:42	これは
2:41:45	破砕体名が白抜きになってるのは、これ非モデル化で、
2:41:50	ということでもいいんですかね、非モデルからから白。
2:41:57	そう。
2:41:58	はい。
2:42:01	具体例の
2:42:03	イトウだとモデル化にモデルが、
2:42:07	記載いただいた。
2:42:09	はい。首藤 のやつ。
2:42:11	すべて。
2:42:15	サブ抜きのままに、
2:42:17	はい。わかりました。多分、非モデル型っていうことで、
2:42:21	どっかの資料で見たんですけど、
2:42:26	ちょっと
2:42:28	今もしお持ちであればなんですけど、そんな時にもらった。
2:42:32	2分の2冊の、
2:42:35	と。
2:42:36	ありますか。
2:42:39	不適トレーサビリティの方の資料。
2:42:42	ていうのはお持ちでなければ、
2:42:49	もともと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:50	またこれ確認しといていただきたいんですけど、早々でちょっと資料名と番号だけ、わかりました。
2:42:59	コメント回答資料 2 っていうやつ、トレーサビリティの確認結果っていう、
2:43:06	点、添付の添 1-21 ページに、の、
2:43:11	添 1-21 ページ。
2:43:16	で、そこでナンバー 85 っていうの書いてあってそれがあそこの破碎分。
2:43:22	当たるんですが、これ本当ただ私のわかんないところの確認。
2:43:28	もし見られればその画面で、
2:43:32	そんなナンバー 1、85 です。
2:43:41	で、ここの資料を見ると、もともと D44 だったんだけど、ちょっと再評価があつて、
2:43:48	この資料でいくと、葛西低迷が FB14-2-4 に変わりましたという表になってるんですけど。
2:43:59	さっきの、
2:44:01	今回の本編資料を見るとひも出るかっていうふうになってて、今日今回の資料の
2:44:09	補足説明とかも見ると、これも非モデル化に変わりましたっていうような説明もあるんですけど、
2:44:15	実際どっちがいいのかな、正しいのかっていうところ。
2:44:21	FB14-2-4 っていうのは、
2:44:25	これがまたさらに日モデル化に変わる、何かその途中過程が現れているのか。
2:44:33	何かその辺の事実関係と、実際はどっちなのかっていうの、
2:44:38	今わかれば、
2:44:40	教えていただきたい。
2:44:42	うん。今すぐわかんないんであればまた、今後、はい。
2:44:46	ていうか
2:44:47	その時に教えていただきたいんですけどちょっと私の方の表の見方が間違ってたならあれなので、まずその点、
2:44:55	いかがでしょうか。
2:45:01	ちょっと確認させてください。はい。そこはまた次回までにという、はい。お願いいたします。
2:45:18	私から以上ですけど、ほかに何か。
2:45:23	個別の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:31	例えば、
2:45:34	2-26 ページ。
2:45:38	返送か。
2:45:44	インターも、
2:45:46	断層部分、
2:45:53	それが入ってる。
2:46:03	の 57 ページとか、なんかどうも、はい。
2:46:07	メール
2:46:08	は、
2:46:10	これはタダウチ。
2:46:17	基本的な、
2:46:23	アノ。
2:46:24	最新活動面の人。
2:46:27	当间断層が区分について別物だととらえていましたので、別で、
2:46:33	資料を用意して補足説明資料 2 の方で断層がフクマ。
2:46:37	イノウエしてございますけども、もう移植というか、わかるように、例えば、カラーバーか何かで、コガ、
2:46:46	この資料、この資料でもわかるように、
2:46:51	56 円。
2:47:00	どこ。
2:47:09	はい。そ、それもですね、下のヤマダですけども、今作戦作成時期ってのも全部
2:47:15	補足説明資料 2 の方に
2:47:18	まとめてしまってますので、こちらにゆ、おんなじページかも。
2:47:23	わかる。
2:47:30	イシイトモダですよ。入れるか、非アノ。
2:47:34	紐づきするか、そこは、
2:47:38	工夫、
2:47:39	と思います。入れてわかりやすい場合もあれば、
2:47:44	これからさつき神谷さんの説明あった通り資料をちょっとまとめ直すと思うんですけど、ボリュームだけが增えるっていうこともあるんで、そこはちょっと御社の方で、
2:47:54	やり方であったり、
2:47:57	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:59	工夫というか、ご検討いただければと思います。カミヤですけども、はいありがとうございます。
2:48:04	ヤマダの申し上げた通り、最新活動面を決めるっていう。
2:48:08	いうやり方、これも今回の補正書の中で、改めて原点としてやり方を精緻化したやり方、今日ご説明ありましたけど、
2:48:18	それと岩相ランク分、
2:48:20	の認定、
2:48:21	これは今日、今日もヤマダの説明の中でですけども、
2:48:27	確かに、
2:48:29	それぞれ1イベントの資料として今用意して、
2:48:40	今野さんからの、
2:48:42	紐付けでもそういうお話ありましたけども、
2:48:46	かなり
2:48:47	こういう、
2:48:49	が膨大付けするにします。そういうふうにした分、100数十ヶ所の
2:48:58	ところは、
2:49:01	であれば、まとめてきます。そうそうおっしゃる通りで、例えばこの表の一番初めのところにこういうものはこの資料のここからここまでありますっていうことを、
2:49:12	明示してもらってもいいのかなと。多分ここだとそうですね③で、
2:49:16	だから紐付けするんであればその仕方ですかね。私も神谷さんおっしゃる通り、一つ一つっていうのも非常に手間だと思うんで、そうやってまとめてっていうことでも、場所がわかればいいですよ。
2:49:28	駄目。
2:49:31	かなりチャンスと。
2:49:34	そんなにたくさんやっております。
2:49:37	170
2:49:44	現在、鉱物のコウ、いや、今やってる7ヶ所については特にその変化っていう
2:49:52	そうない。なるほど。なるほど。なるほど。
2:49:59	そこは捌く。
2:50:01	はい。
2:50:04	野田です。そう。そうですか。なんか、それを書かずにもよるんで、そういったことも、
2:50:09	そういう要素も踏まえてご検討いただければ。すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:14	出ます。
2:50:19	多分ですけど、
2:50:21	2-12 ページとか、断面図がなんぼか出てくる、一つの例として日本 12 ページで言うと、
2:50:29	ちょうど断面図の時に、浅井田井っていう色ピンクのこういう部分がこう書かれて表現されてると思うんですけど、D-1 っていうふうに、
2:50:40	これはもうフジイと、このボーリング孔のところで傾斜が変わってるじゃないですか。
2:50:48	こういう表現方法をどうされてるのかなと思って、規程の方から伸ばしてきてる面のほか、この地点の走向傾斜を反映して、例えば下の方マエダとか、
2:50:58	そういうことがあるのであれば、教えて欲しいな。
2:51:04	いや今すぐでなくてもいいですよ。もう時間があれば、
2:51:11	現在のヤマザキの電話はサイトウ今 0 にしていただいては崎田についてはですけども、おそらくこれ、上にも、
2:51:22	データがありまして、
2:51:26	ウメキコウノ上にもデータがあってそのデータを使って、上の方は記載してるんですけども、多分、
2:51:33	このD1 の 1 コウノあたりで、
2:51:36	この傾斜が変わってその下は多分、
2:51:39	全部多分、
2:51:42	データがそのままないか、この辺が全く同じようなデータを終えているので全く同じ傾斜な効果だと。
2:51:51	ちょっと書き方についてですね
2:51:54	整理して、
2:51:56	回答したい。
2:52:00	全体通していいですか。はい。
2:52:02	すいませんほんと細かい点なんで後からでもいいんですけど、事務っていうのを確認したいと言いますね。最初に、
2:52:13	資料 1 の活動先行の 1 の 69 ページ。
2:52:17	イノウエ 2003 っていうのを引用して、
2:52:21	今日、
2:52:25	一応、
2:52:31	これで熱水技術だっっていうことを説明されてるんだけど、
2:52:36	赤枠で囲んだイライトとか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:40	あるポイント。
2:52:42	ていうのに線を引いてるのを引いてるんですけど、これはもう、
2:52:47	SRDとかでやってみ使うのはむしろスネクタイトとか、
2:52:52	アオキないと、
2:52:54	じゃなかったですか。
2:52:55	はい。江藤アベないですけども、以来、再度ですねスメクタイトが認められていて
2:53:02	変わらないと思う一部でしたかねすべてではなかったと。
2:53:05	認められ、
2:53:08	んでもあって、
2:53:10	言いたい言いたいのは、
2:53:13	何ですか、300度ぐらいの温度でできてるっていうことを説明したいんですか。
2:53:22	いや、
2:53:28	アノヒライとかある場合等、
2:53:32	ですね、その結果を踏まえた300度、
2:53:36	今の方の、
2:53:38	コウの状態っていうのは、かねてから今ご指摘いただいた通り、
2:53:42	スメクタイトとか、変わらない。
2:53:46	について温度条件以外ますのでおそらく暖かい高いっていうか、300度以上のものから始まって、
2:53:54	基本、温度が下がって、
2:53:56	スメクタイトとかもできたってことで
2:53:59	シライとかアルバイトに関しては比較的コウノ熱水活動によってもたらされるものと思ってますけども、
2:54:06	他の分析の結果を踏まえるとそれだけとは思っております。
2:54:13	今温度が下がってる過程でいろいろ創出していけるというお考えな、
2:54:18	はい。考えた人はそういう。
2:54:21	次が来たときって1-70ページの狩野、はい。
2:54:27	この表の中で、測定物であって、カリ長石全体っていうのはあるんだけど、
2:54:33	これ、測定部ではそれであるっていう、根拠は、
2:54:37	危惧される。
2:54:39	現在のヤマダです。
2:54:45	あのXRD

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:47	分析結果を示してしまして、
2:54:51	各破碎されちゃうと、検出部も含まれますけど、ツイッターのXRD分析を行って、
2:54:58	こういった
2:55:00	鉱物が出ている。その中でも粘土部を確認して取ってますので、基本的には
2:55:07	エクセルでピークが出てスメクタイト。
2:55:09	もしくは上手いかとか、カゴイないと、当たりをとっているというふうに考えて、これを今回、
2:55:17	だから、現場とかだったら係長みたいに、前っていうか、括弧、一番上の括弧書きだったらって書いてるけど、当然カリ長石以外も入ってるわけですよ。
2:55:29	はい、原岩ですと。はい。会長。
2:55:34	ちょっと確認した。
2:55:36	長氏が選んで、
2:55:38	はい。うん。確認してくれたり、
2:55:43	いつの 85 ページの、
2:55:45	フローなんですけど、
2:55:54	一番、15 の最後の箱書きのマツノのところで、
2:56:00	ロガーとかボーリングコアの観察と、机の観察っていうの両方を行って、
2:56:05	両方からやられてる場合は、
2:56:08	両者の関数変えられた性状に矛盾がないことを確認した上で、乾燥ワnkールの総合評価を行う。
2:56:15	あるじゃないですか。
2:56:17	書いてるんですけど、
2:56:19	御社が行ったことって、
2:56:22	肉眼で見たものが正しいっていうふうになってるケースってないんじゃないですか。
2:56:30	昨年飲んでひっくり返してるっていう、読むケースはあるとは思うんだけど、或いは両方が一緒だっていうケースはあると思うんだけど。
2:56:38	学園の方を基にして、カタクレーサイトじゃないかっていうような判定をされてるものを幾つか例として見てるんですけど、その逆ってないように思うんですよ。
2:56:48	嘘、それからときに、正常に矛盾がないことっていうのを、どういうことを言われてるのが、ちょっと私にはよくわからなかった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:05	両方が合致してるならそういう矛盾がないって言うのもいいと思うんだけど、派遣の方でカタクレーサイトだから、固結してるっていう判定例が幾つか見受けられて、
2:57:15	そういうのは、正常に矛盾が、
2:57:18	ないんですか、あるんですか。
2:57:27	すぐに回答できなかつたら、後でもいい。
2:57:31	性状がないことの表現が意味を
2:57:35	意味はい。
2:57:38	今、
2:57:43	パッとババですけど、
2:57:47	肉眼で、当然、
2:57:49	見えるものとエミれるものっていうのは、
2:57:52	スケールが違いますので、学園で見たときに、より詳細に見たときに、
2:57:58	例えば、
2:58:01	断層ガウチらしい特徴が認められなかった。
2:58:04	した場合に、
2:58:06	じゃあなぜ肉眼で断層が起きたと思ったのかっていうところが説明できるかどうかっていうのを確認してそれを指して矛盾があるんでしょうかっていうのを、
2:58:15	確認してるっていうことですね。
2:58:19	ちょっと、確かに今回の例です。
2:58:22	今回と、
2:58:24	薄片で、
2:58:28	呉側の方に、谷久我さんが違う、キクカワの方になったというのは、もしかして1、ないのかもしれない。
2:58:35	今回たまたま、ナガタ、
2:58:37	或いは話があつたら矛盾ないなと思うんです。
2:58:42	なぜありってなってる、矛盾がないっていうのを、どういうことを説明されてるのかっていう、いうところなんです。
2:58:47	小関モリ川下。
2:58:50	すいません。すぐ該当でなくても結構です。
2:58:55	派遣ですけど陸なんで、その断層ガウチ角れきを判断するときに、
2:59:02	肉眼では判断できない時とかは、保守的にタダウチにまわしますよっていうふうにしてて、
2:59:11	でもそれはもう、だから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:13	わかんないときは、それかうちにしますっていうのを、
2:59:16	こういう手当薄片で実際にもう少しちゃんと見たら、江藤片倉の性状とか、川口のものがなかったってなったら、じゃ、
2:59:27	肉眼
2:59:29	ガウチって判断していくそれはガウジが特徴確実にあるからとかじゃなくて最終的に、
2:59:35	そういうのが見られなくて保守的になってて、
2:59:40	それはどういう意味かっていうと、やっぱりこういうのを受けて、なってます。
2:59:46	で、説明がコウ。
2:59:48	都竹。
2:59:49	場合には性状が矛盾がないっていうふうな言い方で、そうすると、最終的にしっかりと確認性状が確認できてる方、
2:59:59	となってますねっていうことで、
3:00:02	今回ですと薄片で観察した結果と、肉眼で保守的に話した結果で考えたときには、
3:00:10	衛藤。
3:00:11	これだったらどちらも矛盾なく説明できるかなっていう、そういう判断をしてみますっていうのは、総合評価。
3:00:20	そして、ボーリングの記事とかですね、
3:00:24	未固結ナゴっていうのを認めてるようなケースのときに、
3:00:27	今言われたような説明で、よくわかんないんだけどっていうようなケースに全部
3:00:34	含められるのかっていうのは、私まだ疑問に感じてるから、一応そういうことをお伝えした。はい。
3:00:41	あと、サンゴですけど、薄片観察で複合面構造で、センスを決めてるじゃない。
3:00:49	フェンスとかある。
3:00:51	それは、どういう文献。
3:00:54	で、言われてるこういう構造っていうのが、
3:00:58	いえ、いえ、資料の中にも認められるからっていうふうに、
3:01:05	説明が必要だと私は考えていて、それはもう文献とか運用の中に、
3:01:11	入ってました、確認なんです。
3:01:14	ミヤマエアノ技術ってのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:18	うん。それを入れておいてください。要は、ベンダーさんはどういうものを見ているのかっていうのを私どもも確認したいので、
3:01:25	この文献に書かれてるような工場が、この写真の中に入れてるのかっていうのを確認した。
3:01:32	これを入れるようにしてください。
3:01:34	はい。すみません。以上。
3:01:41	他ありますか。
3:01:45	じゃ、今日はこんなところです。
3:01:48	よろしければ
3:01:51	ユーザーの方ですけど、全体の話はCTモダですけど、
3:01:57	あれが、すみません時間超過しちゃってありがとうございました。
3:02:02	多分今日のヒアリングで事実確認を踏まえて少し資料全体をこうまとめ直されると思う。まとめ直すのと、あと、
3:02:12	今日の事実確認を踏まえて、
3:02:14	その資料の内容を修正変更されるんじゃないかと思っているんですけど。
3:02:21	施設されますかまずそっから確認しない。
3:02:25	はい。
3:02:26	面倒くさい資料、連続性の所です。
3:02:30	そういうことで、もういただいてもわからないとか言われてるものをそのままカナイで確認して、わかるようにしたりとかJ-PARCにしたら、やっぱりこうだっという変更とかあると思います。
3:02:43	はい。そういうことは、
3:02:45	そこの修正変更とこうなんですけど、
3:02:48	これはすみません、すごいイマダとは思んですけど、
3:02:54	いつも通りこう修正したのであれば、二つですね一つは、資料中で修正をしたことがわかるようにしてもらうのと、あとは、
3:03:04	いつもいただいている通りコウ1、
3:03:08	1まとめられるところは別にまとめちゃってもいいと思うんですよね。例えば、同じような変更であればいいか、ここをこう直しました、このページの範囲でとか、集約できるところは省略してもいいと思うんですけど。
3:03:20	以前にもその修正変更したっということが、10月、昨年10月、
3:03:27	10月に提出いただいたものから修正変更したっということが、
3:03:31	ちゃんと気をヒロキかわかるようにしていただければと思うんですけどこの点はいかがですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:38	現在の仕事、はい。承知しました。
3:03:40	わかる。
3:03:41	投資するのと、リスト化したそうですね。
3:03:46	どうぞ。
3:03:50	表レベルカミイチ。
3:03:53	もうさ、確認結果に聞こうとされてます。
3:03:56	そうですねそちらから何か確認等あれば、アルファの村上ですけど、ちょっと前回の面談の時のあれで、
3:04:03	2月9日の審査会合の資料は、今日一番最初に説明したコメントリストとスケジュールはそうですねけれども、
3:04:13	1週間前にちょっと投げかけさせていただいたその現地調査資料の1そのものをポンと置くのか。
3:04:21	或いはコメントの中には、資料の資料幾つかとか、かかるものもあるし、その何か抜粋の方がいいのかとかっていうのを、
3:04:32	少し考えていただけるという話だったんですけどもその辺はいかがでしょう。
3:04:38	一緒です。
3:04:41	はい。規制庁ヤスタアノそのまま全部でいいとは別に抜粋じゃなくて、ただ説明の時にはその中から、こうやってもらえばいいってやっぱ抜粋じゃなくてそのままポンと置いといて、
3:04:53	1そのままいいんですけど、資料1だけってということで、本編資料ですよ。調査資料の1だけ、
3:05:01	1イマイって使えました。
3:05:05	出てくるか何か、最後の方で出てくるな。
3:05:12	だけなんですね、全然。
3:05:14	多分その全部を1個1個全部がこれですっていう面は多分、
3:05:20	時間の兼ね合いもあるかなとは思う。
3:05:23	いますし、
3:05:27	規制庁の野田ですけど、一応出してもらいたい趣旨は二つあって、一つは、コメントをご説明いただいたときに、
3:05:38	必要あれば、ちょっとその資料1を見てもらうということと、あともう一つは、
3:05:47	11月までの審査会合資料から、例えば国政の法面関係ですね、北西法面であるとか、原電ピットとか、現地調査の準備の過程で、例えばせん断面が増えてるっていうそういう差異があるんじゃないですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:01	そこを説明してもらいたいっていう、その目的は、
3:06:05	はい。そのために、資料 1 を用意してもらいたいと、ということなんですけど、いかがでしょう。わかりました。現在カミヤですけど、
3:06:15	12 月 8 日、審査会合の資料から、
3:06:19	追加になってるかわかるようになってんだよね、現状だけ。
3:06:25	推進。
3:06:28	逆に言うと、会計のものは、そうですね、アビルタテを入れたやつは、
3:06:37	修正右上が修正または何も表示されてない会計というものが、その際の部分に当たると思うので、
3:06:46	そこをご説明いただければと思うんですよ。それなぜかという、
3:06:54	そっか。
3:06:56	現状さ。
3:06:58	おられた。
3:07:00	右の方わかるんですけどそれ以外の人は、
3:07:07	能動的に見てきたわかるかもしれないですけど、そうじゃない。
3:07:11	それがまた、
3:07:16	部長に植野かも言ってるんですけど、そういうところをちゃんと対外的に、ポイントもそうです、そういう
3:07:23	最後、これまで、
3:07:25	違うところ、そういった修正があったところはちゃんと説明しとった方が、
3:07:32	ことなんで、そういう指示ですから、現在カミヤですけど、
3:07:36	現庁舎の最初の説明の時に、
3:07:39	もうそこはプレスは多分もう外に出てたんだと思うんですけど、だけどそれからの説明は、
3:07:45	あれですかね、追加したところを中心に、
3:07:49	かいつまんで、
3:07:51	今日の説明は、
3:07:53	したんだよね。
3:07:55	藤。
3:07:56	細かいところというよりはアノ線。
3:07:59	もともとのお願いが、スケッチで、せん断面がこう変えてるところはっていうことでそこは説明を、はい。
3:08:08	ですから、カミヤですけど、阿蘇、それにもう少しちょ多少肉付けしてぐらいなイメージっていう
3:08:16	資料の説明ってことですね。はい。その通りです。ありがとう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:27	後で時間をまた別途説明いただき、
3:08:36	スズキごめんなさい、現在かもしれんけども、12月、
3:08:40	14、15のままの方がいいんですよ。
3:08:43	書きちゃったりすると、違う資料ができたっていう。
3:08:49	難しいっすね。
3:08:52	規制庁のホームページで、
3:08:57	14、15で、何か注記付け替えても同じものですよって何か表示ぐらいな。
3:09:05	ちょっと、規制庁吉井です
3:09:08	多分、
3:09:09	別に今までです。多分そういう例はどっかであると思うんですが、昔の資料を介護資料に持ってきた例があると思うんで、ちょっとそれは確認す。
3:09:20	します。ちょっとまた後ベッドで連絡し、いたします。ちょっとすいません、確認してご連絡します。
3:09:29	ただ、
3:09:32	確認して、
3:09:36	はい。
3:09:38	このカセまだちょっと時間的にそうです。
3:09:45	中身じゃなくて、決めだけの、
3:09:47	ですからそう言われたように、うちの方で対応させていただきました。すいません。
3:09:55	よろしいんですか。そうする資料がこの三つって。はい。
3:10:01	もう説明する順番とかって大体もう、
3:10:04	その本編言ってコメントがありましたんで、スケジュール的にはこう回答します。そんなことをイメージしてるっていう。
3:10:13	ですかね。ちょっと説明するのはそうかなって。規制庁の野田ですけど。はい。私も同じ。
3:10:20	イメージなんですけど。
3:10:21	ちょっと区切るかどうか、考えておりません。もう、三ついつぺんに通しでやってしまうか、もしくは現地調査スケジュールと分けるか、ちょっとごめんなさい。そこまだ私も、
3:10:34	決めきれてないんですよって、何ですいません二つ宿題ですかね。一つは、表紙どうするかっていうのと、説明の時間であったり、
3:10:44	流れであったり、その辺。はい。できる限り早くお伝えしたいと。
3:10:55	よろしい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:02	データ、
3:12:03	最初まで1年、
3:12:05	スケジュール、
3:12:12	88の年代について、スケジュール場所ではなく、
3:12:17	再使用のスケジュールに記載されていること。
3:12:24	それも稼ぎする。
3:12:27	現地調査も含め、各
3:12:57	はい。
3:13:00	下条さん。
3:13:10	今後、
3:13:12	有名。
3:13:15	あ、これ。
3:13:22	1月上旬中旬の現地確認。
3:13:29	事業者はステージを、
3:13:35	美術については3、
3:13:39	よろしい。
3:13:48	はい。
3:13:49	はい。
3:13:54	ええ。
3:13:55	回答時期について前回なんか、
3:14:01	これ、会長、使い分け。
3:14:06	はい。
3:14:10	は、
3:14:12	はい。
3:14:14	これNo。
3:14:16	やっぱG3
3:14:20	再コメントっていう場合は、最後列の箇所だけでなく、
3:14:25	相関がわかるように、
3:14:32	ミツイを伝達したんです。
3:14:42	はい。
3:14:49	第1回、
3:14:51	はい。
3:14:56	調査に提出
3:14:58	戦略2の1、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:01	ごめんなさい、後、コメントって入れないと多分、他の人がわかんないんですが、
3:15:05	コメント。
3:15:15	ミイした。
3:15:22	第1回現地調査。
3:15:27	回答し合う。
3:15:31	ベースから、
3:15:35	まず中旬。
3:15:36	てについて、
3:15:39	あその上で、
3:15:41	報告対応するようで、
3:15:44	二つ1ヶ所4先ってのは書いてないっていう。
3:15:50	あと方と、
3:16:01	今までまとめて回答をっていうふうに、
3:16:04	もうそこをまとめてじゃなくても、
3:16:08	柔軟にっていう、そういう強いよろしいですか。
3:16:13	だって、
3:16:14	そんなんだっけ、速報ベース。そうそうそうあるんですよね。もう二段階方式。
3:16:23	それを、どっちもいい面悪いメンバー、梅津さんか。
3:16:28	あると思うんで、
3:16:38	電話をください。
3:16:40	事業所地層という先行して、
3:16:44	お互いの考え、緊張より、
3:16:49	実施する際に目的は書記、
3:16:51	移行する予定。
3:16:54	来始めることっていうか、検討が検討段階で始めたんですか。そうですね。
3:17:08	実施する場合、
3:17:14	どうしても、
3:17:20	そうか。そうですね。コーチング
3:17:40	3番。
3:17:42	実践。
3:17:43	ですよ。一方っす。
3:17:45	いやだから、麻生ソネ佐瀬家おっしゃっていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:49	ヤマベして事故に装荷しませんけど、
3:17:52	数字いえありがとう。
3:18:08	計画の連続性評価。
3:18:13	フローチャート中の負債。
3:18:15	についても、
3:18:19	層厚、
3:18:20	14、
3:18:26	これは、
3:18:29	フローの
3:18:30	それと四つ目の話が、データの傾斜の話ほど前のページ、
3:18:48	そうですね二つ目だけで、
3:18:58	いいですか、としては藤堂層、こっちを。
3:19:06	淡路。
3:19:08	うん。
3:19:19	が、
3:19:23	そうね、最初は詳細なそこだけ詳しい、
3:19:29	はい。
3:19:32	そうですね。
3:19:34	ユキ受詳細がっていうやつですか。
3:19:39	全く記載されてないわけ。
3:19:42	残すんであればそうですね。ちょっと記載されてないわけじゃないんでそこが。いえ。
3:19:47	詳細が文章じゃそうしますか、個人の詳細んとか。うん。
3:19:53	抽出基準の根拠がそうです。
3:19:57	違う。
3:19:58	根拠が詳細になります。
3:20:36	詳細観察結果がスズキでは、
3:20:40	やっぱこれらの観察箇所の詳細が、清前。
3:20:45	桐生。
3:20:46	生まれているかについても、
3:20:48	利用した。
3:21:11	でも、
3:21:19	そう。
3:21:20	と、
3:21:24	岩盤面スケッチの一番下のやつですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:29	あれが、
3:21:39	そういう
3:21:47	主要構成について、現時点では評価報酬計算上、
3:21:53	新屋県政長。
3:21:59	何とか別資料に入れてます。
3:22:14	バラバライダってというのはわかりやすい。
3:22:19	これ、
3:22:27	うん。
3:22:30	弊社の抽出基準の検討において、
3:22:33	農業経営副主幹。
3:22:36	確認を行い、事業者よりピーボディー抑えたい。
3:22:42	はい。
3:22:44	その際、
3:22:46	実施してない。
3:22:53	後 2 分にこれは、
3:22:55	過去分も含めて、そこを含めて、
3:23:00	手元にあるデータの、
3:23:03	ですね、2 号機の建設の岩盤からの提示、
3:23:08	或いは 2 号機の南側の B モリ 6 の辺りは、
3:23:13	これはもう 20、
3:23:14	安全の背後斜面、
3:23:17	工事をするときに、突破データとかを使いながら、
3:23:21	やっていいので、
3:23:23	だから、
3:23:25	大体いないんですけど、チョイスしているわけじゃない。そう。あるものは精一杯やりましたってことでしょうね。金城。
3:23:40	何しろできたら、そういう
3:23:42	理解して、いや、逆にこのさらに落とすとっちゃって今、野坂さん言われた通り、日吉、
3:23:50	なるほどな、優秀
3:23:52	可能なフジオカサクライは取ってバスってことですよね。
3:24:01	データごめんなさい。
3:24:19	最新のクドウイデ形成された左右定常
3:24:24	で、今回の K 断層の例。
3:24:36	よろしい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:24:37	フローの中ではあるけれども、実際評価には、例の表の中に明示する表の中では、
3:24:45	それを適用しないってなっていない。
3:24:53	最後は、表の、
3:24:57	最後、下表の通りに相当すると。
3:25:01	細江、正常類、井清の判断方法も、
3:25:07	目を
3:25:11	作成し、
3:25:13	そうです。
3:25:17	最後の、
3:25:19	評価。
3:25:25	そうです。
3:25:44	各対象層厚の差を絶対値なクボをつけた表現。
3:25:49	を検討するように、
3:25:52	これ全部今プラスで書いてあるけど、高橋さん。
3:26:00	嗟峨一
3:26:05	こういう表現。
3:26:10	アメリカ、
3:26:11	はい。
3:26:15	旭コイケんとあ、はい。
3:26:23	はい。
3:26:25	はい。
3:26:26	最後に、
3:26:28	えっと、サンプリング、
3:26:31	2点。
3:26:35	サプレツの感覚はもう50、20 ムロイ以上です。
3:26:39	規定の取り方で、
3:26:52	我々は起点の考え方を、
3:26:57	後、
3:26:59	そうですね。
3:27:08	どっちか。そう。
3:27:22	はい。
3:27:31	あれにモデル化してるやつは、
3:27:35	条件は、
3:27:37	多分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:27:40	把握して、起こさなくてもいいですよ。
3:27:44	撮影サイトウだけでできてるやつも何件も出るリスクっていうのは確認できた。
3:27:52	はい。
3:27:53	伊井速記士、伊井です。
3:28:03	条線方法、もしくは技術。
3:28:06	可能性はあるものの、この依頼について、
3:28:11	15で調整方向がわかっている。
3:28:14	いや、
3:28:15	はい。
3:28:18	高校等っていうふうにもらってますね、フェスとか、うん。
3:28:23	あと総合空港傾斜。
3:28:27	ボーリング孔等です。
3:28:35	サポート。
3:28:39	逆にこれ、
3:28:41	6項で調査が見えない方、
3:28:46	ああ。
3:28:48	ちゃんと、
3:28:50	これ、
3:29:04	今、
3:29:12	そう。
3:29:14	吉良教授。
3:29:18	モンマ。
3:29:19	について、
3:29:20	技術関係を確立した吉江一番における、
3:29:25	ボーリングデータ、
3:29:28	を、
3:29:29	走向傾斜、
3:29:33	データも含めて、環境省、
3:29:35	はい。
3:29:39	事業のふげん道路。
3:29:41	経由、K断層、
3:29:45	アノ、
3:30:01	うん。
3:30:05	よろしい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:30:12	評定評価フローから計算する。
3:30:20	資料にも繋がる。
3:30:24	さっきそれ一緒に方が、
3:30:29	思いと、そうですね。
3:30:34	本当に入れちゃえば、
3:30:48	1台ってちょっと向後町。
3:30:50	てもらっていいですか。
3:30:57	兵頭さん。
3:31:17	始まっております。
3:31:20	から、
3:31:25	うん。
3:31:32	その中に書いてあるように、
3:31:38	5.3は一緒じゃない。
3:31:59	連続性評価での検討における最新活動。
3:32:04	サイトウ。
3:32:06	費用の中で整合していない。
3:32:11	を、
3:32:12	今後、
3:32:13	資料、
3:32:15	提示する。
3:32:26	K断層の性状、
3:32:29	ちゃんと
3:32:30	はい。吉井。
3:32:35	最初に着目して、
3:32:39	後、
3:32:40	明瞭な、そうですね。は、資料中でない。
3:32:48	どういうことでしょう。
3:33:11	としては、平残層の、
3:33:14	性状を、
3:33:16	ちゃんと詳しく、
3:33:18	した上で、
3:33:21	うえで、連続性評価を、
3:33:25	説明して欲しい。
3:33:27	古藤。
3:33:28	今、資料上、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:33:31	食い違って、
3:33:35	検討において、
3:33:37	まずは、
3:33:38	K断層の、
3:33:43	形状、
3:33:56	説明するような人が、
3:34:14	センター運用のせん断構造がありますとかいうのが書いてないんだけど、
3:34:20	分岐さ。
3:34:23	最新面に着目するっていうところまではいってないから、そうですね、わかりづらい。
3:34:32	行動いらないと。
3:34:36	オダは、
3:34:40	正常で括弧で運用イマセ学校、
3:34:45	オカ、
3:34:46	アベシマとか、改修。
3:34:51	なるほど。
3:34:55	センナコウドイ、
3:34:59	個人経営構想。
3:35:02	最新
3:35:06	最終イセ所
3:35:14	は、
3:35:16	など、
3:35:22	3月の
3:35:23	最後の辺だけ、3月の
3:35:25	ここだけ残し、
3:35:50	よろしいですか。
3:35:54	K断層以外の破砕部の性状等のデータについて、K断層、
3:35:59	井清を、
3:36:00	上、
3:36:01	チームにおいてデータを追求検討する。
3:36:05	イシタ。
3:36:09	イイダの層位。
3:36:11	そうか、Dたのですか。
3:36:17	区長とかっていう、括弧の方が、数字

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:36:25	早朝について、
3:36:28	セキオク。
3:36:37	これ、実際、
3:36:40	今、経産省連続設定。
3:36:44	テーマに繋がる。
3:36:46	それを受けた数と同じ性状のもの、或いは同じ年代に動いたものが更新。
3:36:53	ではないという
3:36:56	していますでしょう。だから、JR等とか、冷房出るかどうかというところって、あんまり直接通そういう運用はしてない。
3:37:04	ですね、私もそういうふうに認識してるんで、そういった資料の位置付けになっている中で、御社として、
3:37:12	必要だと思えば集計してもらえばいいわけじゃないと思うんですよ。じゃないかなと。
3:37:19	パターンと私は考えてます。はい。そうしまして、
3:37:27	一方で、
3:37:34	に示すように、
3:37:38	材料じゃなくてコア。
3:37:41	コア。
3:37:42	動かそうですね。
3:37:57	大体名は白抜なってる。
3:38:00	全部という、
3:38:03	アポイントメント資料。
3:38:05	調査データレサビ。
3:38:09	を、
3:38:10	との整合性を確認し、
3:38:20	コメントNo.85のコメントはっていう考え。
3:38:27	すいません。
3:38:28	ちょっといい点の1-2、これでわかります。大丈夫。はい、わかり。
3:38:37	なんで、ちょっと返ってくる
3:38:39	してください。
3:38:45	原因写真。
3:38:47	総額、
3:38:48	パートで、
3:38:49	規制するようで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:38:52	そうですね、神戸通訳法的をしている破砕部について、
3:39:03	ああ。
3:39:05	3 ページ。
3:39:07	お忙しいですね。
3:39:10	だから、アクションをして、
3:39:15	伝える。
3:39:18	うん。
3:39:24	あ、
3:39:25	はい。
3:39:32	郡久米郡をしている。最後については、
3:39:39	断層マーク、
3:39:41	1、そうですね。
3:39:45	直接信用もよろしい。
3:39:54	え。
3:39:55	写真というよりは、あれだよな。
3:39:57	最新活動と、メール、資料にもちゃんと学部の
3:40:04	情報開示、
3:40:16	後ろの方にはついてますけどね。
3:40:21	ちゃんとあって、
3:40:27	はい。
3:41:01	ああ。
3:41:04	Cだと、皆さんあれしたね、アノは茅野どこからとってるかも含めて、星知事は今日、
3:41:13	弁済周知。
3:41:15	ダイソー、麻生。
3:41:16	いや、
3:41:25	指導主事。
3:41:39	ボーリング
3:41:42	ちょっと平面図、
3:41:44	そうでしょう。
3:41:49	だんだん中層浅井他いいの。
3:41:54	総合計。
3:41:55	また、技術じゃ駄目です。
3:42:01	エミ。
3:42:08	後継者の間、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:42:09	確認したっていうか、ばっかりといてないんで確認を求めたみたい。
3:42:27	イメージ、印象。
3:42:30	もう1個で確認された。
3:42:33	ですか。
3:42:34	何、全部、農林コウで確認された。
3:42:42	もうまでは要らないんですよ。
3:42:46	刀禰断面図の浅井田井から初めて
3:42:52	走向傾斜、傾斜、傾斜、うん。断面図は書いた
3:43:03	の、逗子の逗子の方って言った方がいいんですかね。詳細言えば走向傾斜と絡んでくるんだらうけど、
3:43:15	地方の方でいいです。
3:43:19	あの、あれですよ
3:43:21	ボリュームに公共と書いてある長くすると、あとその後ろに四角書いてある電話ハセガワそうですねあれの関係がどうなってんだというご質問でした。申しあげましたね。今もう、
3:43:33	書いてるのをどうやって書いてるか、ニシカワゴコウ途中変わったり、
3:43:41	以上。
3:43:42	吉尾安井。
3:43:54	資料4。
3:43:57	図面しかいない。
3:44:08	この資料を使って、整備できたっていうことを説明されてるんで、同館関連付けてるか表を使って、
3:44:19	どう説明してるのかが、
3:44:22	説明を求めたっていうか、これも、
3:44:26	協会といたんで確認したり、
3:44:31	変質、
3:44:34	2003、
3:44:37	を使って、
3:44:46	演出。
3:44:49	による成因。
3:44:58	を、
3:45:05	どのように考えるように事業者が考えたか。
3:45:19	確認したり、
3:45:28	カリウムアルゴン年代、
3:45:30	循環だし、Kさんの年代の測定試料、測定サンプル、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:45:38	そ測定 3、
3:45:40	策定設備設計、
3:45:44	ていうサンプルが、
3:45:48	何であるか。
3:45:51	確認を、
3:46:00	はい。いいですか。
3:46:02	はい。
3:46:03	亀井会長今、
3:46:06	藤。
3:46:07	宗。
3:46:09	エンドウの方は、
3:46:13	今も、
3:46:14	回答できなかつたので、
3:46:19	面倒及びしてるな。
3:46:28	これは越智さん、問題意識を言っただけなんで、回答求めているわけじゃないんですけど、
3:46:39	うん。特にいいです。残さなくていいですか、少なくともいい。
3:46:45	いや少し問題意識持ってたなら考えてもらってもいいんですけど。
3:46:51	うん。はCのちょっと疑問として聞いただけ。
3:46:59	この場で確認できた。
3:47:02	いや、確認ができてないんですけど。
3:47:04	確認はきちんとできてないんですけど、
3:47:07	何か矛盾、矛盾してるっていうか、
3:47:12	どういうことも書かれてるのか。
3:47:15	当社は昨年観察、
3:47:21	で、
3:47:26	かぎ括弧の前に、断層班区分の総合評価において、
3:47:32	宗社長。
3:47:36	総合評価において、
3:47:42	もともとの性状に矛盾がないこと。
3:47:45	過去閉じるで、
3:47:51	前回異なっていること。
3:47:53	から取っちゃってもらって、
3:48:01	慣れた成長に矛盾がないことを記載。
3:48:15	はい、よろしいです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:48:22	久保ホウジョウ。
3:48:24	参考 2 をした文献を記載する
3:48:28	はい。はい。
3:48:29	もうこれでいいんですけど。
3:48:32	まず模式図じゃなくて、薄片写真とかをちゃんと載つけてる物件を押し、
3:48:40	示して欲しい。
3:48:45	いやいや、これつけなくていい部分はそれでいい。
3:48:48	アオキ。
3:48:50	趣旨として、
3:48:52	現場にも各写真がある。
3:48:56	そうです。こういうものが、
3:48:58	薄片にも見えてますっていうのが、スズキ、
3:49:12	最後、今後のスケジュール。
3:49:15	本日のヒアリングを踏まえ資料修正をする。
3:49:20	使用中で修正箇所、
3:49:24	作成予定。
3:49:28	2 月 9 日の審査会合資料 1、現地調査資料については、資料 1。
3:49:36	資料。
3:49:39	あんまり、
3:49:40	今まで、
3:49:44	終わっていると。
3:49:46	実際、
3:49:48	はい。
3:49:52	前回、12 月と、
3:49:54	後に関して 1 ヶ所、
3:49:58	中長期の共振
3:50:01	ワタナベ、
3:50:07	10 月 8 日の審査官。
3:50:15	カナダに分けて、駄目だっていう風ない。そうしないな。そうですか。
3:50:37	国家インダって書いて、
3:50:40	現状※ポイントスケジュールね。はい。
3:50:46	今日、
3:50:47	5 ページのコメントリストスケジュール、現実足をつけちゃうでしょ。
3:50:55	資料入れてもらって、ごめんなさい、現地調査資料アノカミヤ。
3:51:09	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:51:10	ありがとうございます。
3:51:43	はい。
3:51:44	ございました。
3:51:46	では、追加で特になければ、これでヒアリング終了したいと思います よろしいですか。
3:51:53	では、ヒアリング終了しますありがとうございます。どうもありがとうございました。 ございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。